



デジタルハイビジョン液晶テレビ

CTV26-C1/CTV32-C1

取扱説明書



このたびはお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本書では、安全上のご注意、設置、接続、初期設定などについて説明しています。
お求めの液晶テレビを安全に正しくお使いいただくため、ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
お読みになられたあとは、いつでも見ることができる場所に保管してご使用おねがいします。

ご使用の前に

本製品の準備

テレビの基本操作

設定メニューの使い方

その他

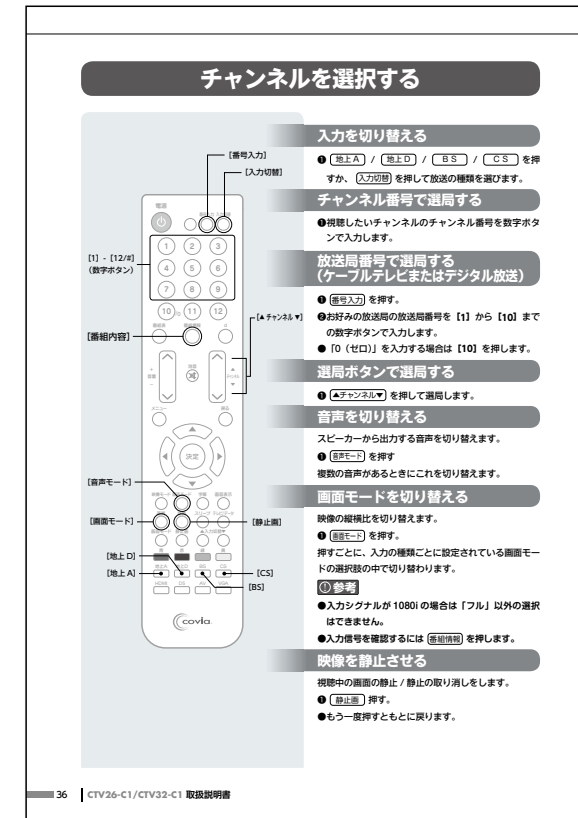
ご利用までのながれ (準備・設置・接続・設定)

本製品をご利用いただくまでの基本的な流れです。

- ステップ 1 → ■箱を開けて付属品を確認してください。
P.10 参照
- ▼
- ステップ 2 → ■本体とリモコンの各部の名前と機能を確認してください。
P.12 参照
- ▼
- ステップ 3 → ■本体を設置してください。
P.20 参照
- ▼
- ステップ 4 → ■B-CAS カードを挿入してください。
P.22 参照
- ▼
- ステップ 5 → ■リモコンの準備をしてください。
P.23 参照
- ▼
- ステップ 6 → ■アンテナを接続してください。
P.24 参照
- ▼
- ステップ 7 → ■本体と外部機器を接続してください。
P.28 参照
- ▼
- ステップ 8 → ■本体の設定をしてください
P.42 参照

本書の読みかた

説明のしかたについて



- 本書は、CTV26-C1/CTV32-C1 の 2 つのモデルの取扱いを説明しています。本書の説明は CTV32-C1 を基準に説明しています。CTV26-C1/CTV32-C1 で機能や操作・配置などが異なる場合は個別に表記していますのでご注意ください。
- 本製品はリモコンでの操作を前提として設計されていますので、本書は特別な場合を除きリモコンでの操作方法のみを説明しています。
- 操作説明の文中では、下面に表示されるメニューなどの項目は太字で、リモコンのボタンはアイコンにて表記しています。
例)
選択項目: **受信設定** / **リモコン設定** / **受信レベル**
ボタン名: **電源** / **映像切替** / **決定**
- 本書の操作説明のページは、各ページ右側に操作説明文、操作に関連する画面表示やリモコンのイラストを左側に記載しています。リモコンのイラストは、そのページで使用するボタンがわかるように記載しています。

アイコンについて

- 注意マーク・・・ **⚠ 注意** に続く説明文は、本製品の取り扱い時に注意すべき事項です。重要な内容を含みますので、必ずお読みください。
- 参考マーク・・・ **① 参考** に続く説明文は、本製品を快適にお使いいただく上で知っておいていただきたい内容です。できるだけお読みください。

安全上のご注意

お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい重要な内容を記載しています。

本文を必ずお読みになり内容をよく理解された上で、記載事項を守り、お使いください。

表示と絵記号の説明

●警告表示の意味

	警告	「取扱を誤った場合、人が死亡 ^{※1} 、または重傷を負うことが想定されること」を示します。
	注意	「取扱を誤った場合、人が軽傷 ^{※2} を負うことが想定されたり、物的損害 ^{※3} の発生が想定されること」を示します。

- ※1. 重 傷：失明やけが、やけど、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものをさします。
- ※2. 軽 傷：治療に入院や長期の通院を必要としない、けが、やけど、感電などをさします。
- ※3. 物的損害：家屋・家財およびペットなどにかかわる拡大損害をさします。

●絵記号の意味 の中や近くに具体的な指示事項が描かれています。

	注意を示します。
	禁止（してはいけないこと）を示します。
	しなければならない行為を示します。

警告

異常や故障の場合

 電源プラグを抜く	煙が出たり変な臭いや音がしたら、すぐにコンセントから電源プラグを抜いてください。 そのまま使用続けると、火災や感電の恐れがあります。 煙が出なくなるのを確認したら、お買い上げの販売店にご連絡ください。
 電源プラグを抜く	正しく接続されているのに、画面が写らない、音声がでない場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。 そのまま使用続けると、火災の原因となる恐れがあります。 お買い上げの販売店にご相談ください。
 電源プラグを抜く	本体内部に水や異物が入った場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。 そのまま使用続けると、火災や感電の恐れがあります。 お買い上げの販売店にご相談ください。
 電源プラグを抜く	本体を転倒したり落したりしてキャビネットが破損した場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。 そのまま使用続けると、火災や感電の原因となる恐れがあります。また、破損したキャビネットを取り扱うとけがの恐れがあります。 お買い上げの販売店にご相談ください。

異常や故障の場合

 電源プラグを抜く	電源コードや電源プラグが破損したり、発熱したりする場合は本体の電源を切り、電源プラグが冷えたことを確認してからコンセントから抜いてください。 そのまま使用続けると、火災や感電の恐れがあります。 電源コートや電源プラグが破損した場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
---	--

設置する際

 指 示	本製品を設置するときはコンセントから電源プラグが抜きやすい場所に設置する。 異常や故障が起こった場合や、長時間使用しないときなどに役立ちます。
 水場での使用禁止	本製品を屋外や浴室などの水がかかる恐れのあるところに設置しないでください。 火災や感電の原因となります。
 禁 止	本製品をぐらついたり、傾いたり、不安定な場所に設置しないでください。 本体が落ちて、けがの原因となります。必ず、水平で安定した場所に設置してください。テレビ台などを使用する場合は、その取扱説明書もよくお読みください。
 禁 止	常に振動が発生する場所に本製品を設置しないでください。 振動により本体が転倒・落下しけがの原因となる恐れがあります。
 指 示	電源プラグは交流 100V コンセントに確実に差し込んでください。 交流 100V 以外のコンセントを使用すると火災や感電の原因となります。 電源プラグが根元まで差し込まれていないと、発熱による火災の原因となります。 傷んだ電源プラグや、ゆるいコンセントは使用しないでください。
 禁 止	本製品の上に物を置かないでください。 金属類や、花瓶・化粧品などの液体が本製品内部に入った場合、火災や感電の原因となります。また、重いものなどが落下した場合、けがの原因となります。
 指 示	本製品を壁に取付けて使用する場合は、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。 工事が適切におこなわれなかった場合、けがの原因となります。

使用するとき

 分解禁止	本製品の分解・改造・修理を自分でしないでください。 火災・感電・故障の恐れがあります。また本製品のシールやカバーを取り外した場合、修理をお断りすることがあります。
 禁 止	電源コード・電源プラグは、 ・傷つけたり、延長などの加工、加熱（発熱する器具に近づけるなど）したりしないでください。 ・無理に引っ張ったり、重いものをのせたり、はさんだりしないでください。 ・無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしないでください。 火災や感電の原因となります。
 禁 止	本製品内部に異物を入れないでください。 通風口などから金属類や紙などの燃えやすいものが内部に入ると、火災や感電の原因となります。特にお子様にはご注意ください。
 禁 止	雷が鳴り出したら、本体、電源コードには触れないでください。 感電の原因となります。
 指 示	包装に使用しているビニール袋などでお子様が遊んだりしない様にご注意ください。 かぶったり、飲み込んだりした場合、窒息の恐れがあります。 万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師の診断を受けてください。
 指 示	日常のお手入れ ときどき電源プラグを点検し、刃や刃の付け根にホコリなどがたまっている場合は、きれいに掃除してください。汚れを放置しておく后感電の原因となります。

注意

設置する際	
 禁 止	温度の高い場所に本製品を設置しないでください。 直射日光の当る場所や、暖房器具のそばなど温度の高い場所に本製品を置くと火災の原因になる場合があります。また、キャビネットの変形、破損などによって感電の原因になる場合があります。
 禁 止	湿気・油煙・ホコリの多い場所に本製品を設置しないでください。 加湿器、調理器具のそばなどやホコリの多い場所に置くと火災や感電の原因となる場合があります。
 指 示	転倒・落下防止処置をおこなってください。 転倒・落下防止処置をおこなわないと、本体の転倒・落下によってけがなどの危害が大きくなることがあります。
 禁 止	本製品の通気口をふさがないでください。 本製品を設置するには、壁から取扱説明書に定められた距離以上離して設置してください。空気の流れが悪いと内部に熱がこもり、火災の原因となる場合があります。
 指 示	移動したり、持ち運んだりする場合には、 離れた場所に移動する時には電源プラグ・他の機器との接続線、アンテナ線および転倒防止を外してください。 外さずに移動するとコード類が傷つき火災・感電の原因となる場合があります。また、転倒などでけがの原因となる恐れがあります。 包装箱から出したり、持ち運ぶ際は、無理のない人数でおこなってください。 無理をすると、けがをする危険があります。また、本体を落としてけがをする危険があります。 キャスター付きのテレビ台に設置している場合、移動するときはキャスターの固定を解除して、本体を支えながら、テレビ台を移動してください。 本体を押して移動したり、本体を支えてなかったりすると、本体が落下してけがの原因となる場合があります。 衝撃を与えないように、ていねいに取り扱ってください。 本体が破損して、けがの原因となる場合があります。

使用するとき	
 禁 止	テレビ台を使用するときは、 不安定な台を使用しないでください。 片寄ったのせ方をしないでください。 テレビ台の扉を開いたままで使用しないでください。 転倒、破損、指をはさむ、引っ掛けるなどでけがの原因となる場合があります。特にお子様にはご注意ください。
 禁 止	コンセントや配線器具は定格を超える使い方はしないでください。 たこ足配線は、火災・感電の原因となる場合がありますのでしないでください。
 禁 止	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張って抜かないでください。 電源コードを引っ張って抜くと、電源コード・電源プラグを破損し、火災・感電の原因となる場合があります。必ず、電源プラグを持って抜いてください。
 濡れ手禁止	濡れた手で電源プラグに触らないでください。 感電の原因となります。
 禁 止	本体やテレビ台にぶら下がったり、上にのったりしないでください。 けがの原因となる場合があります。特にお子様にはご注意ください。
 電源プラグを抜く	旅行などで長期間使用しない時には、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。 万一故障した場合に火災の原因になります。 本体や、リモコンの電源ボタンを押して画面を消した場合は、本製品への通電は完全に切れていません。完全に電源を切るには、電源プラグをコンセントから抜いてください。

 禁 止	ヘッドフォンやイヤフォンを使用するときは、ボリュームを上げすぎないでください。 耳に刺激を与えるような大きな音量で視聴すると、聴力に悪影響をおよぼす場合があります。
 禁 止	本体の画面を叩いたり衝撃を加えたりしないでください。 本製品は精密機器ですので、衝撃などを与えると故障、破損の原因となります。また液晶画面のガラスが割れて、けがの原因となる場合があります。もし、ガラスが割れて、内部の液晶（液体）が漏れた場合は液晶には触れないでください。液晶が目に入ったり、皮膚についたりすると、目や皮膚に障害をあたえる恐れがあります。万一、目は口に入ったり、皮膚についた場合には、きれいな水でよく洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。衣服などについた場合は、すぐに水で洗い流してください。床や家具などについた場合は、液晶に直接触れないように注意して拭き取ってください。

日常のお手入れ	
 電源プラグを抜く	お手入れをするときは電源プラグを抜いてからおこなってください。 感電の原因となる場合があります。
 指 示	ベンジン・アルコールなどは使わないでください。 キャビネットが変質したり塗料がはげたりすることがあります。 キャビネットや操作パネルは柔らかい布などで拭いてください。 拭く前に表面のゴミやホコリを取り除いてから柔らかい布などで軽く拭いてください。堅い布でこすったりするとキズがつく恐れがあります。 液晶パネルには特殊は表面加工が施されています。 洗剤や水拭きなどはしないでください。脱脂綿やガーゼなど、または OA 機器清掃用の布などで軽く拭いてください。

使用上のご注意

画面に黒い点や、常に光っている点がある

- 画面上に赤や青、緑の点（輝点）や、黒い点（減点）がある場合がありますが、これは故障ではありません。液晶画面は非常に精密な技術で 99.99% 以上の画素は正常に機能するよう製造されていますが、技術的な限界でごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素が発生します。

本製品メモリーに保存されるデータの取り扱いに関するご注意

- 本製品メモリーには、本製品の各種設定や放送局からのメール、有料番組の購入履歴などが記録されます。
- 本製品メモリーには、放送事業者の要求によるお客様の個人情報や、データ放送に含まれるポイントなどが記録される場合があります。
- 本製品を廃棄、譲渡などする場合には、不要なトラブルを防ぐため、本製品メモリーに記録されている上記のデータを消去することを強くお勧めします。
- 本製品の不具合・修理などで、本製品メモリーに保存されたお客様のデータが破損・消滅した場合などにおいて、記録内容の補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。また、いかなる場合においても、当社にて記録内容の修復はおこないませんので、予めご了承ください。
- 何らかの原因でコンテンツを外部録画機器などで記録できなかったり、外部録画機器で記録されたコンテンツが破損あるいは消去されたなどの、いかなる場合においてもコンテンツの補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

長時間ご使用にならないとき

- 本製品を長時間電源を入れずに使用しないでいた場合、正常に機能しなくなる場合があります、ときどき電源を入れて作動させてください。

B-CAS カードの取り扱いに関するご注意

- 本製品の動作中などに、不用意に B-CAS カードの抜き差しおこなうと、故障の原因となることがあります。
- B-CAS カードの中には IC が内蔵されていますので、折り曲げたり、大きな衝撃を加えたり、端子部に触れたりすると、IC を破損する場合がありますので、ご注意ください。
- 本製品にカードを差し込むときは、必ず指定された向きで挿入されるように、十分ご確認ください。

INDEX 目次

本書の読みかた	1	接続した機器を使う	39
説明のしかたについて	1	接続した機器の映像を見る	39
アイコンについて	1	接続した機器を通して音声を聞く	39
安全上のご注意	2	設定メニューの使い方	40
使用上のご注意	6	設定メニューの基本的な使い方	41
ご使用の前に	9	設定メニューについて	41
付属品のご確認	10	本製品の初期設定をする	42
各部の名前と機能	12	アンテナの設定	42
本体操作部（CTV32-C1）	12	リモコンボタンの編集	43
本体操作部（CTV26-C1）	13	ネットワークの設定	44
本体接続部（CTV32-C1）	14	設定の初期化	45
本体接続部（CTV26-C1）	15	地域・郵便番号の設定	45
リモコンのボタンと機能	16	設定メニューで様々な設定をする	46
本製品の準備	19	映像設定	46
本製品の設置のしかた	20	音声設定	48
設置の手順	20	機器設定①	50
転倒防止策を実施する	21	機器設定②	52
B-CAS カードを準備する	22	画面調整（PC 接続の設定）	54
付属のリモコンを準備する	23	その他	55
アンテナを接続する	24	お問い合わせの前に	56
VHF/UHF アンテナを接続する	24	エラーコード一覧	57
BS・110 度 CS 共用アンテナを接続する①	25	本製品の主な仕様	58
BS・110 度 CS 共用アンテナを接続する②	26	CTV26-C1 外形図	59
LAN（ブロードバンド回線）に接続する	27	CTV32-C1 外形図	60
他の機器を接続する	28	保証とアフターサービスについて	61
DVD プレーヤーなどを接続する	28		
パソコンを接続する	30		
AV アンプなどを接続する	31		
ヘッドフォンを接続する	31		
電源コードの接続	32		
接続する	32		
電源に関するご注意	32		
テレビの基本操作	33		
テレビの視聴をおこなう準備	34		
デジタル放送を視聴する準備	34		
アナログ放送を視聴する準備	34		
電源と音量	35		
チャンネルを選択する	36		
デジタル放送を視聴する	37		
共通の操作①	37		
共通の操作②	38		

ご使用前に

本製品をご利用いただく上での注意事項や付属品の説明など、ご使用になる前に知っておいていただきたい内容を記載しています。

ご使用前に

本製品の準備

テレビの基本操作

設定メニューの使い方

その他

付属品のご確認

箱を開けたら、付属品がそろっているか確かめてください。

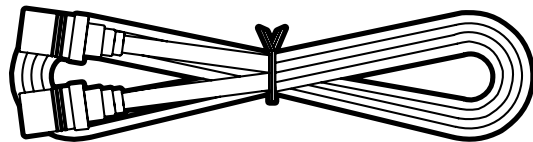
■取扱説明書（本書）



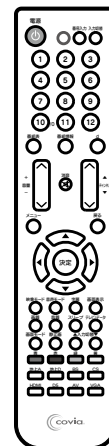
■保証書



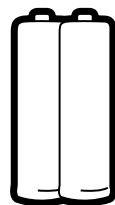
■アンテナケーブル×1



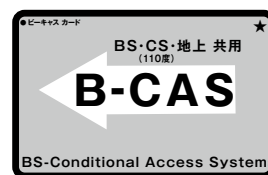
■リモコン×1



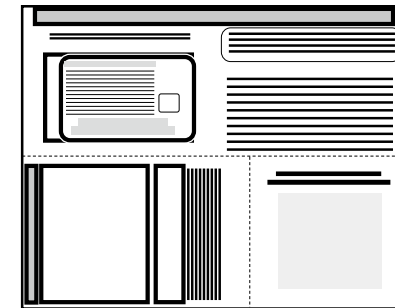
■単4乾電池×2



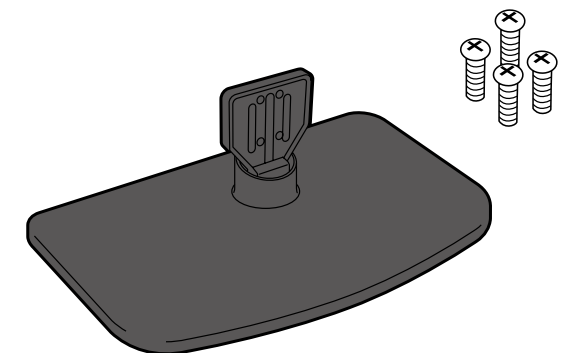
■B-CAS カード×1



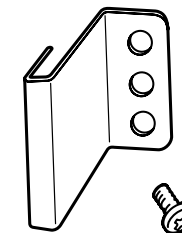
■B-CAS 用ユーザー登録はがき台紙×1



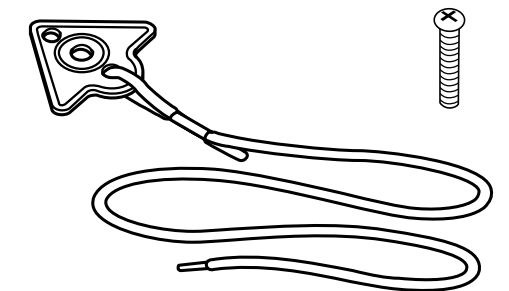
■専用スタンド×1 スタンド用ネジ×4



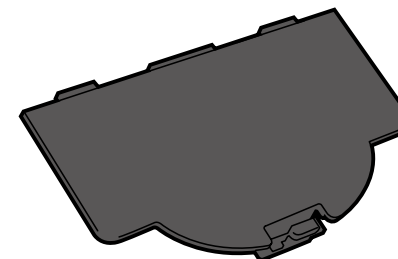
■B-CAS カード固定用金具×1 固定用金具のネジ×1



■転倒防止ひも×1 転倒防止ひものネジ×1



■本体底蓋×1



⚠注意

※付属の電池は動作確認用です。できるだけお早めに新しい電池とお取り替えください。

※別紙で追加情報が同梱されているときは、必ず参照してください。

1. 使用の前に

本製品の準備

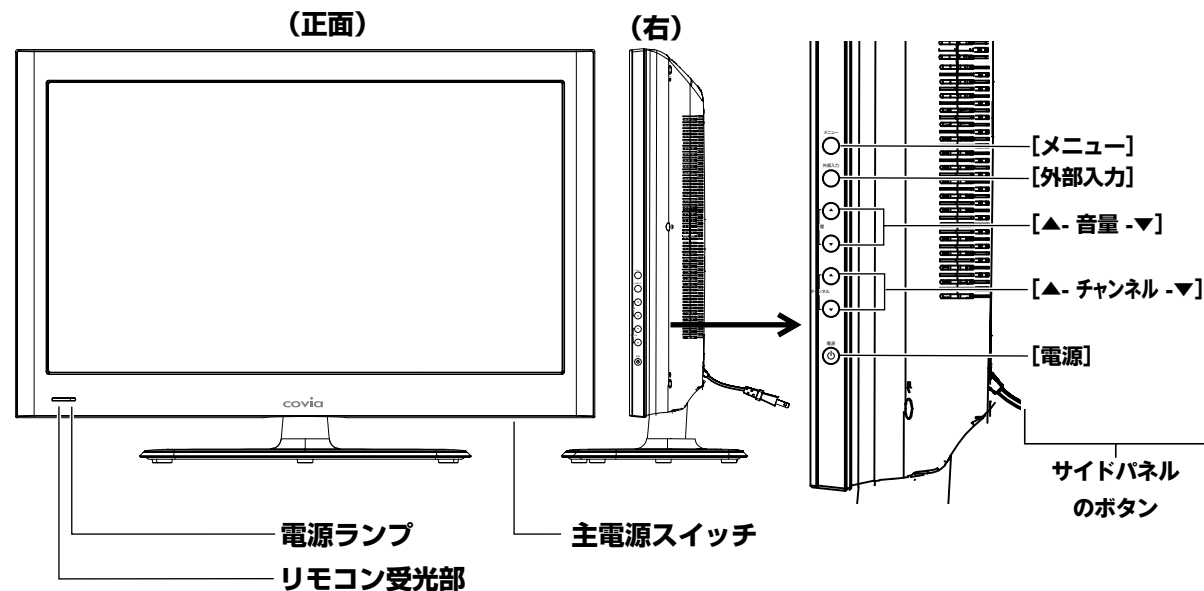
テレビの基本操作

設定メニューの使い方

その他

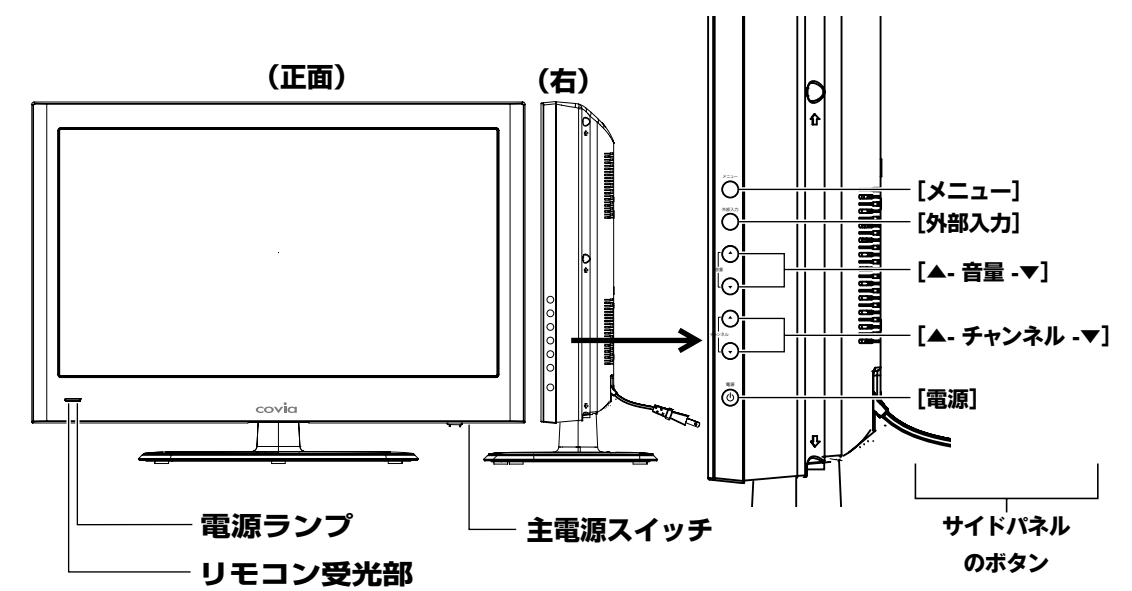
各部の名前と機能

本体操作部（CTV32-C1）



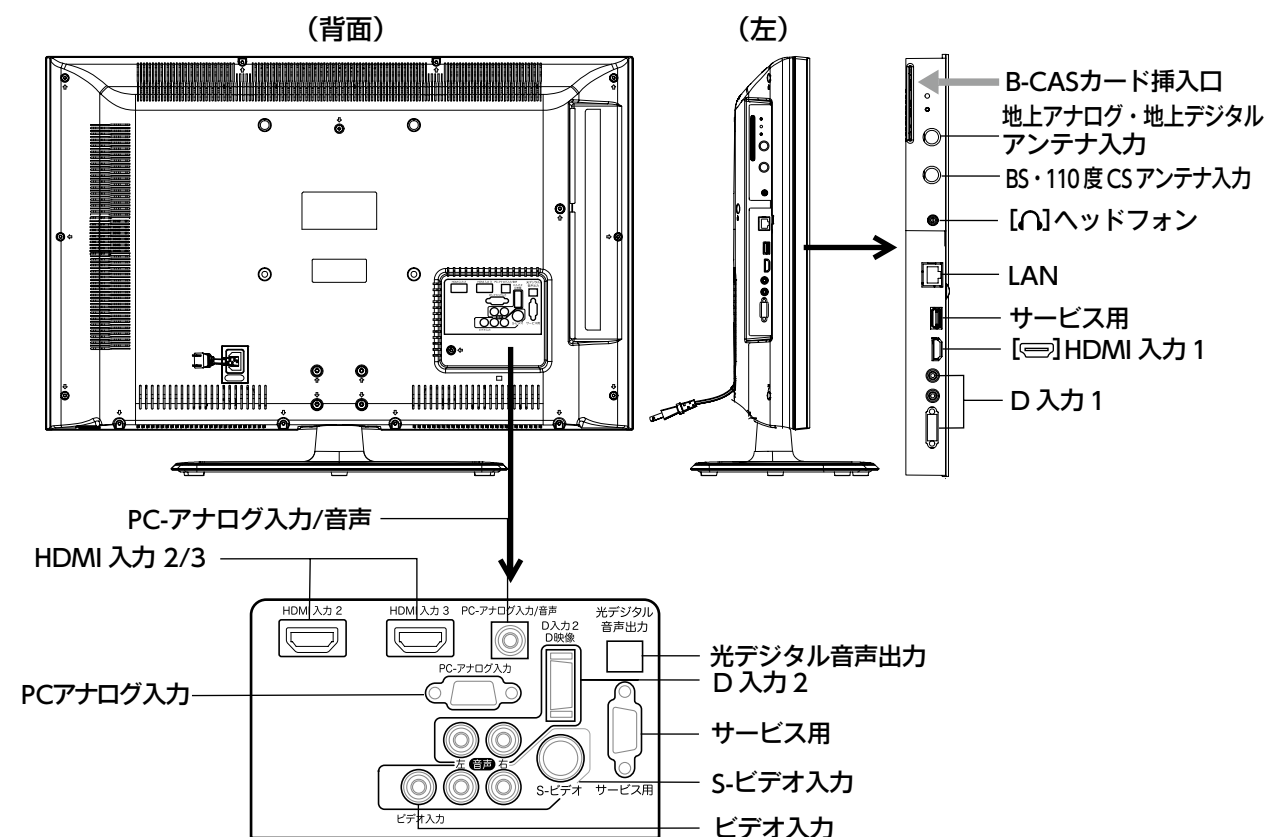
ボタン	機能
■基本操作	
[主電源スイッチ]	本製品の電源をオン / オフをおこないます。
●以下のサイドパネルのボタンは主電源スイッチがオンの時、いずれか1つを押すと、青色に点灯し、入力が受け付け可能であることを示します。	
[メニュー]	メニュー画面の表示 / 非表示をします。
[外部入力]	本体への入力信号を選択します。画面に選択画面が表示されます。[▲-チャンネル-▼]を押して入力を選択します。
[▲-音量-▼]	スピーカーまたはヘッドフォンの音量調節をします。 またメニューの調整にも使います。
[▲-チャンネル-▼]	チャンネルを順番に切り替えます。 またメニューの項目選択にも使います。
[電源]	待機状態（電源ランプ：赤）と電源オン（電源ランプ：青）を切り替えます。 △注意 ●待機状態（電源ランプ：赤）のときは、電源を切った状態と比較して消費電力が高くなります。旅行などで、本製品を長時間使用されないときは、本製品の主電源スイッチをオフにするか、電源プラグをコンセントから抜いてください。
■設定メニュー表示中の操作	
[メニュー]	ひとつ前のメニューに戻ります。
[入力選択]	メニュー項目を選択します。
[▲-チャンネル-▼]	上下方向に項目を選びます。
[▲-音量-▼]	左右方向に項目を選びます。

本体操作部（CTV26-C1）



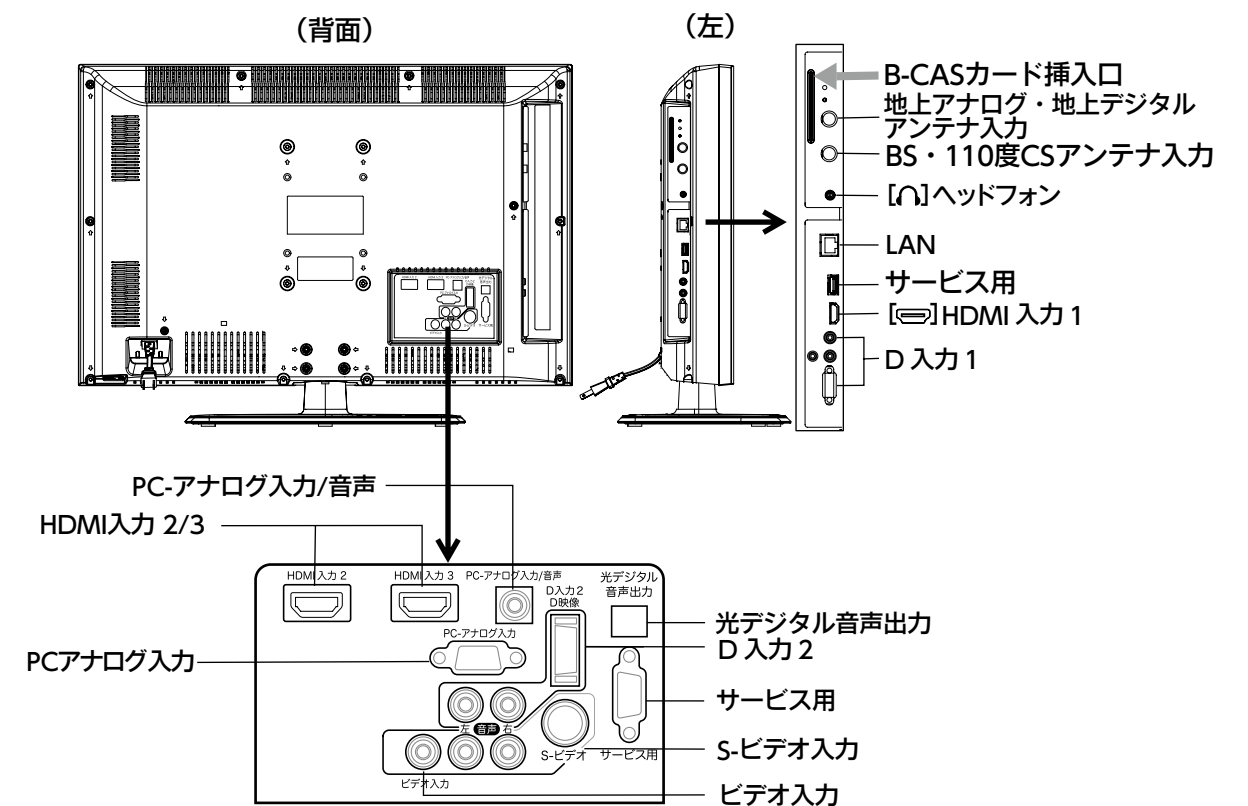
ボタン	機能
■基本操作	
[主電源スイッチ]	本製品の電源をオン / オフをおこないます。
●以下のサイドパネルのボタンは主電源スイッチがオンの時、いずれか1つを押すと、青色に点灯し、入力が受け付け可能であることを示します。	
[メニュー]	メニュー画面の表示 / 非表示をします。
[外部入力]	本体への入力信号を選択します。画面に選択画面が表示されます。[▲-チャンネル-▼]を押して入力を選択します。
[▲-音量-▼]	スピーカーまたはヘッドフォンの音量調節をします。 またメニューの調整にも使います。
[▲-チャンネル-▼]	チャンネルを順番に切り替えます。 またメニューの項目選択にも使います。
[電源]	待機状態（電源ランプ：赤）と電源オン（電源ランプ：青）を切り替えます。 △注意 ●待機状態（電源ランプ：赤）のときは、電源を切った状態と比較して消費電力が高くなります。旅行などで、本製品を長時間使用されないときは、本製品の主電源スイッチをオフにするか、電源プラグをコンセントから抜いてください。
■設定メニュー表示中の操作	
[メニュー]	ひとつ前のメニューに戻ります。
[入力選択]	メニュー項目を選択します。
[▲-チャンネル-▼]	上下方向に項目を選びます。
[▲-音量-▼]	左右方向に項目を選びます。

本体接続部（CTV32-C1）



●左側面		●背面	
D 入力 1	D ケーブル・音声ケーブルを使用し て対応機器を接続します。	HDMI 入力 2/3	HDMI ケーブルで HDMI 出力のある AV 機器を接続します。
HDMI 入力 1	HDMI ケーブルで HDMI 出力のある AV 機器を接続します。	PC- アナログ 入力 / 音声	音声ケーブル（ミニステレオ）で パソコンを接続します。
サービス用	サービス対応で使用しますので、お 客様はなにも接続しないでください。	D 入力 2	D ケーブル・音声ケーブルで対応機 器を接続します。
LAN	データ放送や双方向通信用にブロー ドバンドへ接続するためのモデムや ルーターを接続します。	同軸デジタル 音声出力	オーディオ機器で音声を聴くときに 接続します。
ヘッドフォン	ヘッドフォンで音声を聴くときにヘッ ドフォンのプラグを接続します。ヘッ ドフォンを使用しているときは内蔵 スピーカーの音声は出力されません。	PC- アナログ 入力	VGA ケーブルでパソコンを接続し ます。
BS・CS110 度 アンテナ入力	アンテナケーブルを使用して BS・ CS110 度アンテナを接続します。	ビデオ入力	ビデオケーブルでビデオ機器を接続 します。
地上アナログ・ デジタルアン テナ入力	アンテナケーブルを使用して、地上 アナログ・デジタルアンテナを接続 します。	S- ビデオ入力	S ビデオケーブル・音声ケーブルで 対応機器を接続します。
B-CAS カード (挿入口)	B-CAS カードを挿入します。	サービス用	サービス対応で使用しますので、お 客様はなにも接続しないでください。

本体接続部（CTV26-C1）



●左側面		●背面	
D 入力 1	D ケーブル・音声ケーブルを使用し て対応機器を接続します。	HDMI 入力 2/3	HDMI ケーブルで HDMI 出力のある AV 機器を接続します。
HDMI 入力 1	HDMI ケーブルで HDMI 出力のある AV 機器を接続します。	PC- アナログ 入力 / 音声	音声ケーブル（ミニステレオ）で パソコンを接続します。
サービス用	サービス対応で使用しますので、お 客様はなにも接続しないでください。	D 入力 2	D ケーブル・音声ケーブルで対応機 器を接続します。
LAN	データ放送や双方向通信用にブロー ドバンドへ接続するためのモデムや ルーターを接続します。	同軸デジタル 音声出力	オーディオ機器で音声を聴くときに 接続します。
ヘッドフォン	ヘッドフォンで音声を聴くときにヘッ ドフォンのプラグを接続します。ヘッ ドフォンを使用しているときは内蔵 スピーカーの音声は出力されません。	PC- アナログ 入力	VGA ケーブルでパソコンを接続し ます。
BS・CS110 度 アンテナ入力	アンテナケーブルを使用して BS・ CS110 度アンテナを接続します。	ビデオ入力	ビデオケーブルでビデオ機器を接続 します。
地上アナログ・ デジタルアン テナ入力	アンテナケーブルを使用して、地上 アナログ・デジタルアンテナを接続 します。	S- ビデオ入力	S ビデオケーブル・音声ケーブルで 対応機器を接続します。
B-CAS カード (挿入口)	B-CAS カードを挿入します。	サービス用	サービス対応で使用しますので、お 客様はなにも接続しないでください。

1. 使用の前に

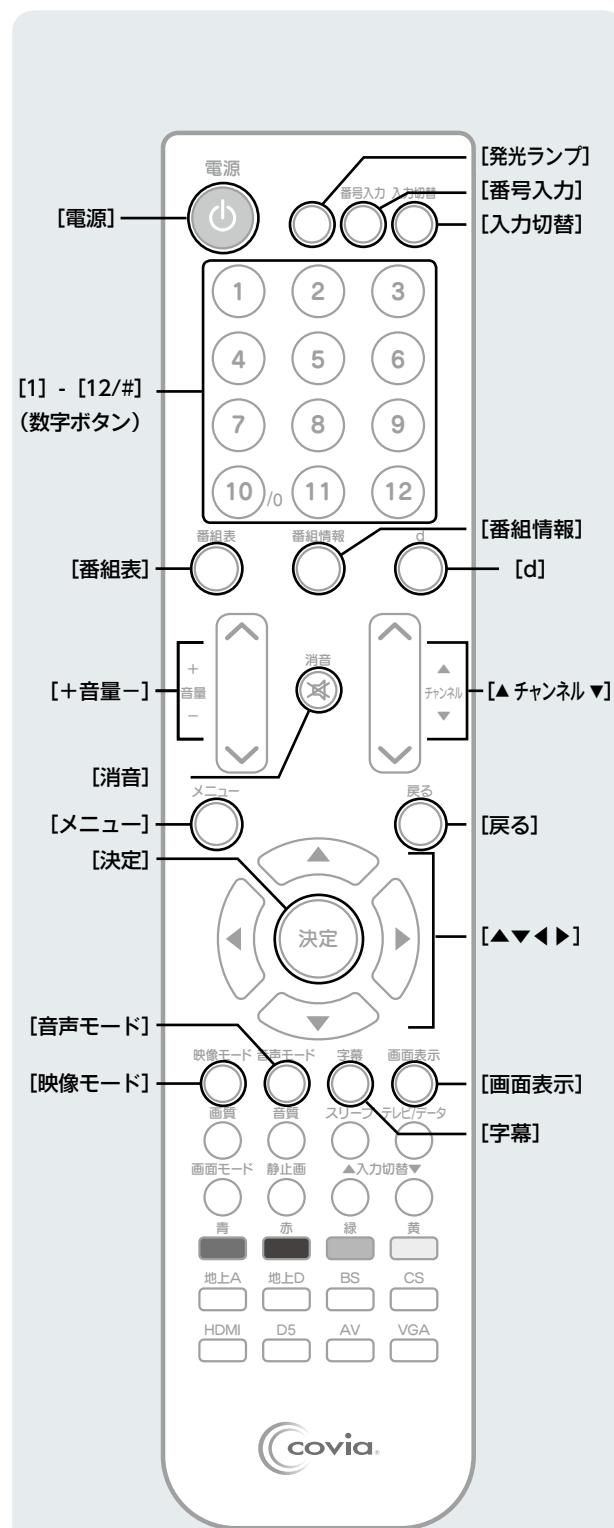
2. 本製品の準備

3. テレビの基本操作

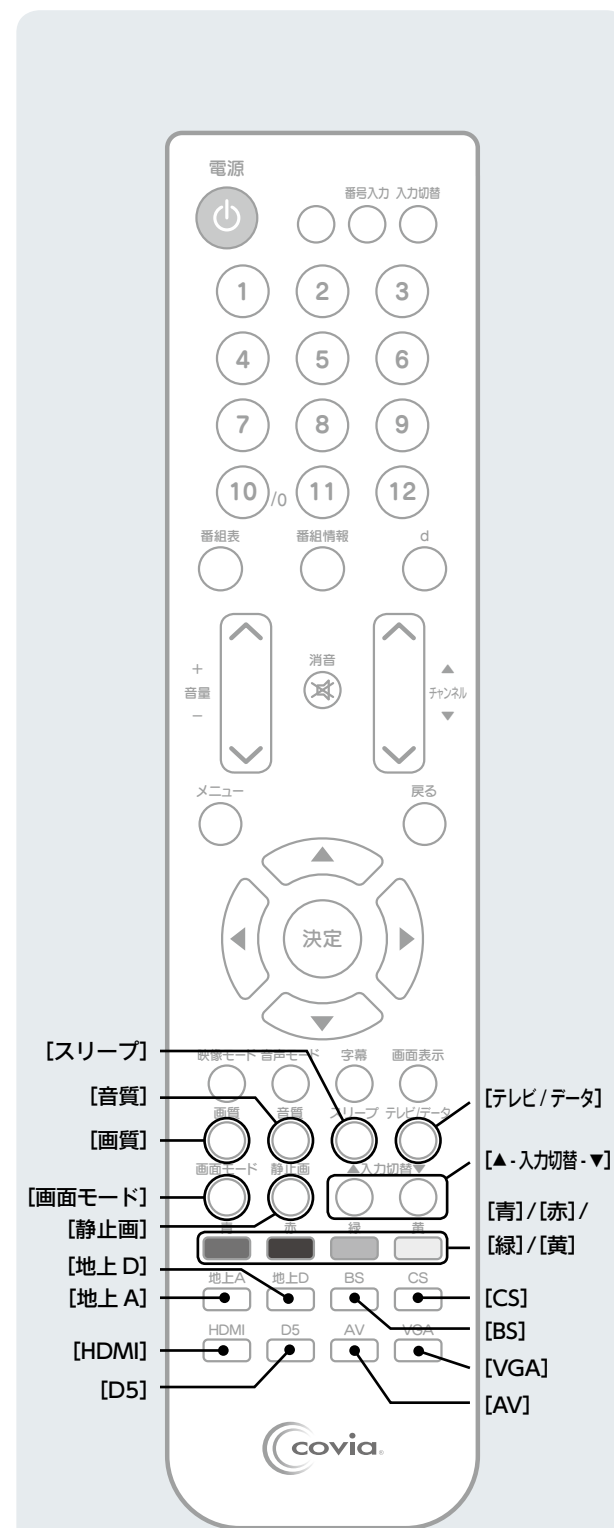
4. 設定メニューの使い方

5. その他

リモコンのボタンと機能



ボタン名	機能
【電源】	電源待機 / オンを切り替えます。
発光ランプ	信号がリモコンから送られるときに点灯します。
【入力切替】	本体への入力信号の選択します。
【1】 - 【12】 (数字ボタン)	数字入力で使用します。
【番組表】	デジタル放送受信中に番組表を表示します。
【番組情報】	現在視聴しているデジタル放送の番組の詳細情報を表示します。
【番号入力】	デジタル放送・CATV のチャンネルを数字で直接選局する機能です。
【+ 音量 -】	スピーカーまたはヘッドフォンの音量調節をします。
【消音】	音を消します。
【▲・チャンネル・▼】	チャンネルを順番に切り替えます。
【メニュー】	メニュー画面の表示 / 非表示をします。
【戻る】	ひとつ前のメニューに戻ります。
【d】	デジタル放送番組に連動したデータ放送表示に切り替えます。
【▲、▼、◀、▶】	メニュー選択時などに上・下・左・右方向に項目を選びます。
【決定】	メニューで選択した項目を決定します。
【映像モード】	マルチビュー放送の映像切り替えをします。(本製品は対応していません。)
【音声モード】	番組で選択できる音声モードの切り替えをします。
【画面表示】	受信チャンネルなどの情報を表示します。
【字幕】	デジタル番組で選択できる字幕があるとき切り替えをします。



ボタン名	機能
【画質】	画質を設定します。
【音質】	音質を設定します。
【スリープ】	スリープタイマーを設定します。
【テレビ / データ】	デジタルテレビ放送 / 独立データ放送の切り替えをします。
【画面モード】	映像のアスペクト比 (映像の縦と横の長さの比) を切り替えます。
【▲・入力切替・▼】	本製品への入力信号を順番に切り替えます。
【静止画】	表示映像の一時静止・解除をします。
【青】 / 【赤】 【緑】 / 【黄】	デジタル放送中受信中の双方向サービスでの項目選択や、デジタルメニュー中の操作選択をします。
【地上 A】	地上アナログ放送を受信します。
【地上 D】	地上デジタル放送を受信します。
【BS】	BS デジタル放送を受信します。
【CS】	110 度 CS デジタル放送を受信します。
【HDMI】	HDMI 入力 1, 2, 3 を順番に切り替えます。
【D5】	D 入力 1,2 を順番に切り替えます。
【AV】	ビデオ、S- ビデオ入力に切り替えます。
【VGA】	PC- アナログ入力(パソコン入力)に切り替えます。

1. 使用の前に

2. 本製品の準備

3. テレビの基本操作

4. 設定メニューの使い方

5. その他

本製品の準備

本製品や本製品に接続する外部機器の設置および設定方法についてご説明いたします。

⚠ 注意

- 接続については CTV32-C1 のイラストで説明しています。他のモデルとは端子の位置が異なりますが、接続方法は同じです。
- イラストはわかりやすくするために誇張や省略をしており実際の製品とは異なる場合があります。

ご使用の前に

本製品の準備

テレビの基本操作

設定メニューの使い方

その他

本製品の設置のしかた

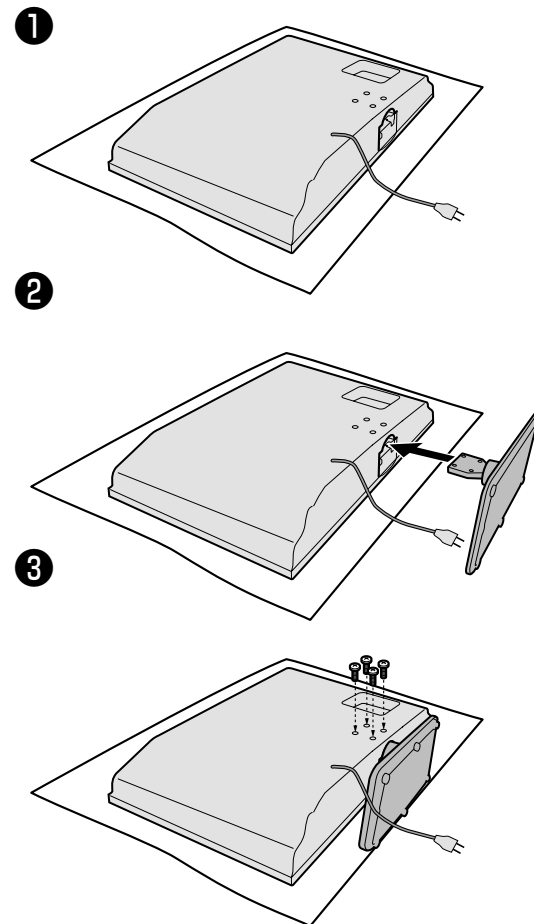
本製品は重量のある精密機器です。設置をされる前に、安全上のご注意を必ずお読みください。

設置の手順



※直射日光が当たる場所や通気の悪い場所は避けて設置してください。

例) CTV32-C1 の場合



① 置く場所を決める

- 本製品は精密機械ですので、直射日光の当たらない気温が安定している場所に設置してください。
- 水平かつ丈夫で、安定して固定できる場所を選んでください。

② 台座をつける

- ①画面表面を傷つけないようにするため、柔らかい布のようなものを敷き、背面が上、画面表面が下になるように本体を置いてください。
- ②スタンドを取り出して、本体下部のスタンド取り付け用の溝に挿入してください。スタンドは、本体下部のスタンド取り付け用のネジ穴全ての位置に完全に合うようにいれてください。
- ③本体とスタンドを、取り付け用の4本のネジでしっかり固定し、画面が正しく見えるように本体を立ててください。

① 参考

- 本製品を壁にかけてご使用になる場合は台座はつけないでください。

⚠ 注意

- 上図を参考にして、実際の部品をよく確認してから作業してください。
- 本体を倒す際には衝撃を与えないようにゆっくりとおこなってください。
- 本体画面を傷つけないように作業してください。
- 全てのネジはしっかりと固定してください。
- 必ず2人以上で作業してください。

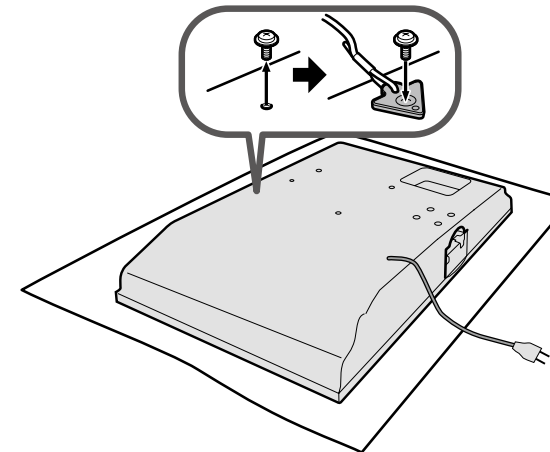
【壁掛け設置について】

- 本体を壁に設置される場合は、床に垂直で堅い厚い壁をお選びいただきお買い上げ店にご相談ください。

お願い

- スタンドを取り外す際も必ず同様な手順で本体をテーブルなどの上に寝かせた状態でおこなってください。

転倒防止策を実施する



① 転倒防止ひもを付ける

- ①転倒防止ひもは、本体裏側のネジ穴を一か所使用します。転倒防止ひもを取り付ける位置のネジをはずしてください。
- ②転倒防止ひもを、転倒防止ひも用のネジで本体にしっかりと取り付けて固定してください。
- ③スタンドを取り付けた本体の重量に十分に耐えられる台の上に本体を設置して、壁や柱等のはがれない堅牢な部分に、転倒防止ひもの他端をしっかりと結び付けて固定してください。

⚠ 注意

- 本製品が転倒すると、お客様のけがや本製品の故障につながります。かならず転倒防止策を実施してください。
- 上記の方法で本製品の固定ができない場合は、お買い上げ店などにご相談ください。

壁に掛けるとき

本製品は壁掛け用の金具を使用して壁に掛けることもできます。

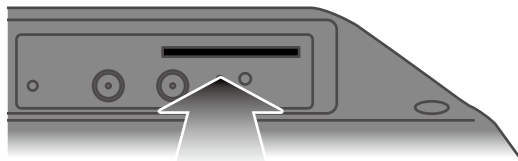
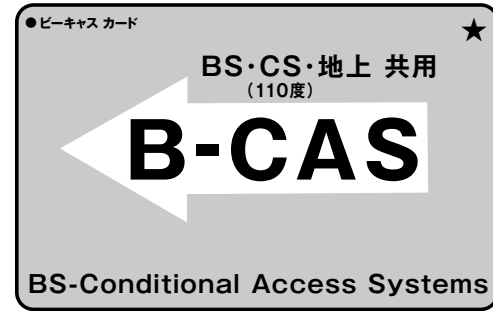
① 参考

- 付属の本体底蓋を台座取付部分に取り付けてください。

⚠ 注意

- 壁にかけて使用される場合は、かならずお買い上げ店または工事業者にご依頼ください。

B-CAS カードを準備する



CTV32-C1 の
カードの入れかた

CTV26-C1 の
カードの入れかた

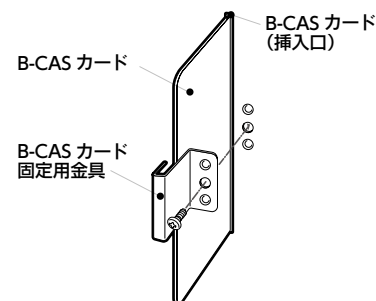
⚠注意 TV32-C1 と CTV26-C1 で B-CAS カードのいれる向きが違いますので
ご注意ください。

付属の B-CAS カード固定具について

付属の B-CAS カード固定具は、カードの盗難防止用を使用するもので、店頭展示や公共の場所への設置を想定したものです。一般家庭でのご利用の場合は必要ありません。

【取り付け方法】

B-CAS カード固定具をねじ止めしてください。



B-CAS カードについて

- B-CAS カードは地上デジタル放送 /BS デジタル放送 /110 度 CS デジタル放送が受信機器に視聴制限をおこなうために使用しています。
- デジタル放送を受信・視聴いただくためには、B-CAS カードを本製品に挿入していただくことが必要です。ご使用に際しては、同梱の B-CAS 用登録はがきか、Web でのユーザー登録をお勧めします。(登録は任意で無料です。)

① 参考

- スカイパーフェクト! 110、WOWOW などの有料放送を視聴のされる場合は、別途契約が必要です。
- B-CAS カードに関するお問い合わせは、カードの裏面記載の (株) ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンターまでお願いいたします。

B-CAS カードの入れかた

- ① 本製品の電源を切る。
- ② 同梱の「ビーキャスト (B-CAS) カード使用許諾契約書」の内容を読み、了解していただいた上で、台紙から B-CAS カードをはがしてください。
- ③ 本製品左側面の B-CAS カード挿入口に B-CAS カードを挿入してください。
- ④ 同梱の B-CAS 用ユーザー登録はがきに記入し、指定された送付先にお送りください。

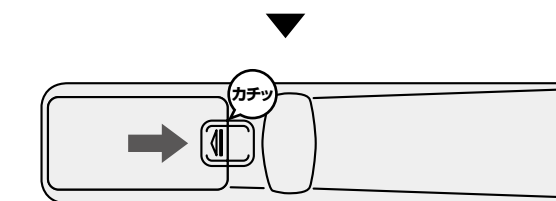
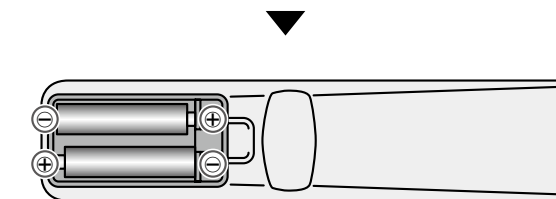
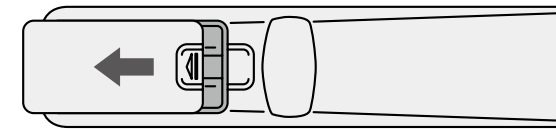
① 参考

- B-CAS カードには視聴に必要な情報などが記憶されますので、本製品に入れたままご使用ください。
- B-CAS カードが盗難され、他人がお客様のカードを使用して有料番組を視聴した場合も、視聴料はお客様に請求されますので、カードの管理にはご注意ください。
- B-CAS カードは (株) ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズからお客様に貸与されているものです。本製品を廃棄する場合は同社にご返却ください。また本製品を譲渡する場合などには、新しい所有者にカードの名義を変更してください。

B-CAS カードの取扱い上のご注意

- B-CAS カードを折り曲げたり、傷つけたりして破損し、正常に機能しなくなった場合には、B-CAS カードの再発行は有料となります。
- B-CAS カードの金属部 (集積回路) にはご視聴に必要な情報が記録されていますので、触れないでください。
- B-CAS カードの抜き差しは、必要な場合以外はおこなわないでください。

付属のリモコンを準備する



電池の入れ方

- ① リモコン背面の電池カバーをはずします。
カバー上部の ▼ 部分を下方方向に押しながらくい上げてください。
- ② 乾電池を取り付けます。
極性表示 (+ と -) に合わせて乾電池を正しい向きにいらしてください。
- ③ 電池カバーを閉めてください。
カバーの突起をリモコン本体の溝に差し込んで、カチッと音がするまでカバー上部を押し込んでください。

⚠注意

- 指定以外の乾電池は使用しないでください。
- 極性表示 (+ と -) を間違えて挿入しないでください。
- 付属の乾電池を充電・加熱・分解したり、ショートさせたりしないでください。
- 乾電池を火や直射日光などの過激な熱にさらさないでください。
- 表示されている「使用推奨期限」を過ぎた乾電池や、使い切った乾電池はリモコンに入れておかないでください。
- 種類の違う乾電池や新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。

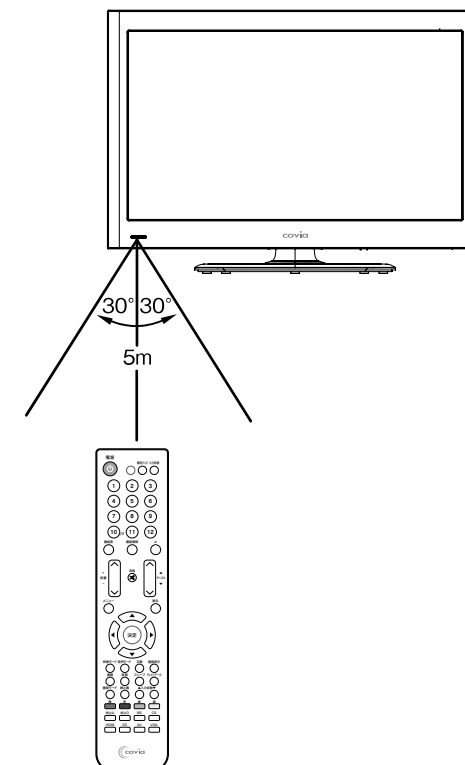
① 参考

- 本製品に付属の乾電池は動作確認用ですので、早めに新しい電池と交換してください。
- リモコンを長期間使用されないときは乾電池を取り出しておいてください。
- 乾電池の廃棄に関しては、お住まいの自治体で定める廃棄方法に従ってください。

操作のしかた

リモコン操作は本体の受光部に向けておこないます。

- リモコンは、本体のリモコン受光部に向けて使用してください。
- リモコンを使用できる角度は、本体から約 5m の位置で上下左右約 30° です。

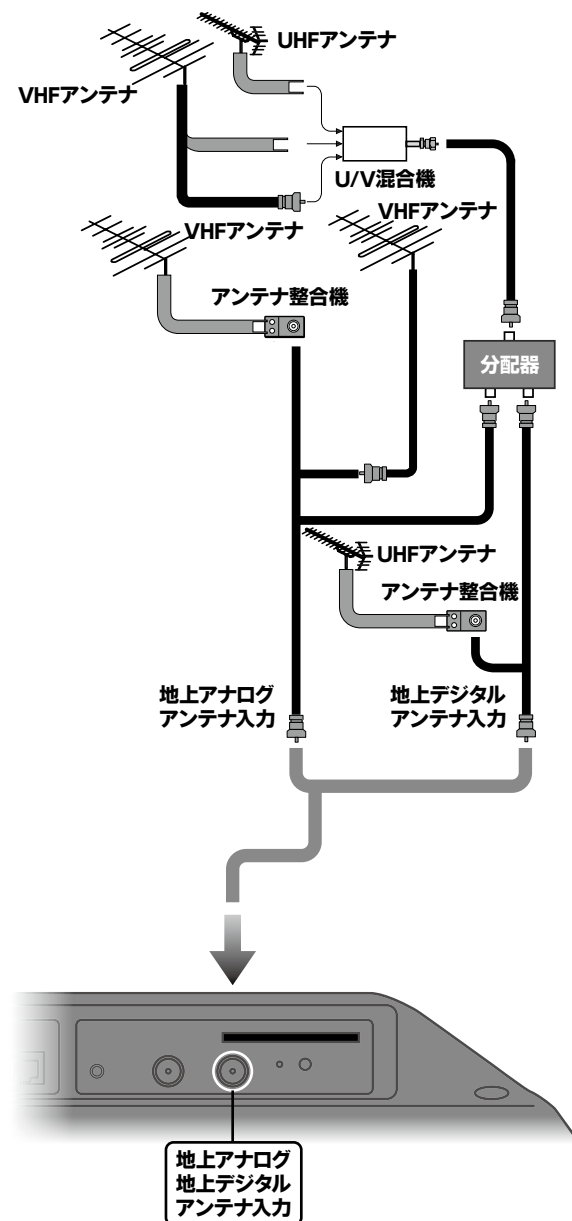


アンテナを接続する

⚠注意

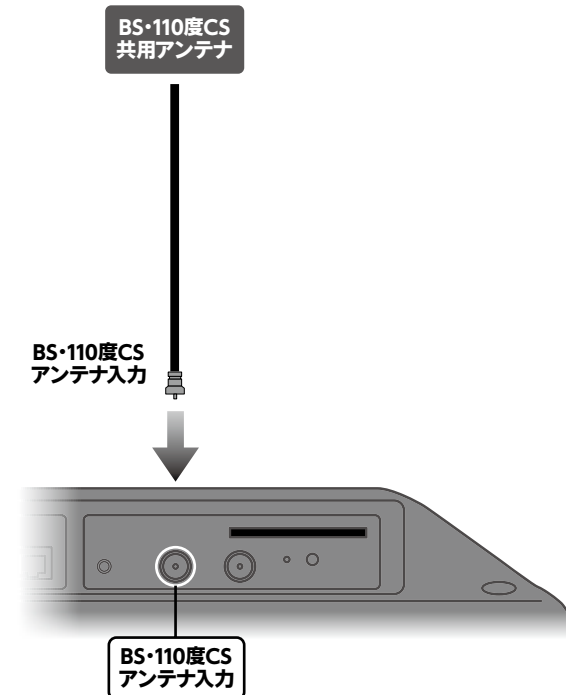
- アンテナの取り付け・配線は、必ず専門業者にご依頼ください。
- ケーブルテレビをご利用の場合、ケーブル会社からの送信方式によって接続が異なります。詳しくは、視聴契約をしているケーブルテレビ会社にご確認ください。

VHF/UHF アンテナを接続する



- 地上デジタル放送の受信には、UHF アンテナを使用します。ご使用中の地上アナログ放送と地上デジタル放送が同じ送信所から送られている場合は基本的に現在ご使用中のアンテナをそのままご使用いただくことができますが、場合によっては角度などの調整やブースターを追加する必要があります。詳しくは販売店などにお問い合わせください。
- 現在地上アナログ放送を受信していない場合や、地上アナログ放送と地上デジタル放送が異なった送信所から送られている場合は、新たに UHF アンテナを設置してください。この場合は地上デジタル放送専用のアンテナ設置をお勧めします。また、アナログ放送用のアンテナ線と地上デジタル放送用のアンテナ線を市販の混合器を使って信号を混合して接続してください。
- VHF のアンテナ線と UHF のアンテナ線が別々のアンテナ線から受信している場合は、市販の U/V 混合器で信号を混合して接続してください。
- 本製品のアンテナ入力端子に接続するアンテナ線は、同梱のアンテナケーブルを使用してください。
- ご自宅のアンテナ線がフィーダー線を使用している場合は、円筒形の同軸ケーブルに変換する必要があります。市販のアンテナ整合器をお使いください。
- アンテナ設定メニュー（⇒ 42 ページ）を使用して受信レベルが最大にならない場合は、アンテナの方向を調整してください。ご使用になる地域・地形によって受信レベルは異なりますが、視聴できる受信レベルの目安は 50 以上です。アンテナの方向を調整しても受信レベルが上がらない場合は、市販のブースターを設置することをお勧めします。

BS・110 度 CS 共用アンテナを接続する①



◀単独アンテナとの接続

- アンテナは BS・110 度 CS 共用アンテナを使用し、アンテナ線 / ブースター / 分配器等は、110 度 CS 帯域（2150MHz）まで対応しているものをご使用ください。その他のものを使用した場合には映像が映らないことがあります。これまでご使用になっていた BS アンテナでも、BS デジタル放送を受信できますが、110 度 CS デジタル放送と一緒に受信するには BS・110 度 CS 共用アンテナが必要です。
- スカイパーフェクト TV! 用のアンテナでの 110 度 CS デジタル放送は受信はできません。
- BS・110 度 CS 共用アンテナの設置については、ご使用のアンテナの取扱説明書をご覧ください。
- VHF/UHF のアンテナ線を BS・110 度 CS デジタルアンテナ入力端子に接続しないでください。故障の原因となります。
本製品に付属の BS・110 度 CS アンテナケーブルを使用して、BS・110 度 CS アンテナを本製品の BS・110 度 CS デジタルアンテナ入力端子に接続してください。
- アンテナ設定メニュー（⇒ 42 ページ）を使用して受信レベルが最大にならない場合は、アンテナの方向を調整してください。視聴できる受信レベルの目安は 50 以上です。
- アンテナの電源供給の設定を「オン」に設定してください。（⇒ 42 ページ）
- 市販の家庭用分配器を使って複数の BS 機器を接続する場合は、必ずどの端子からも電源を供給するタイプをご使用ください。この場合、本製品か他の BS 機器のどちらかのアンテナ電源のみを「オン」に設定してください。
両方とも「オン」に設定すると故障の原因となります。また、本製品の電源を待機状態・オフ状態にした時はアンテナ電源には電源は供給されません。他の BS 機器を本製品がオフまたはスタンバイの時に使う場合には、使用する BS 機器より電源を供給するようにしてください。

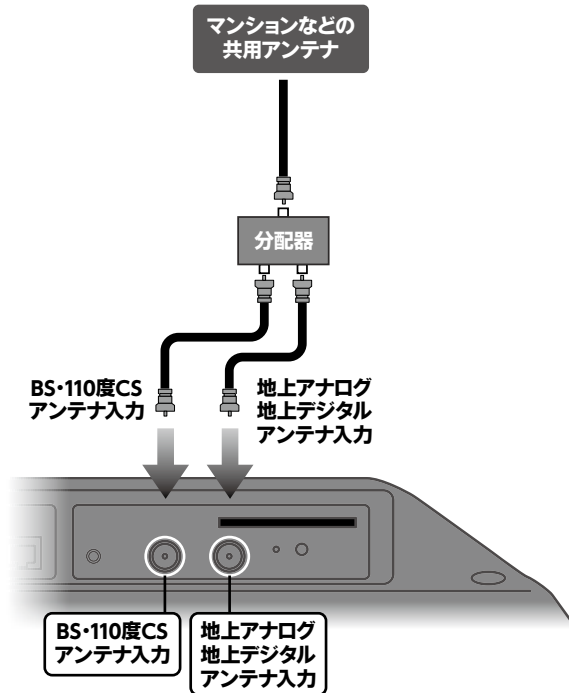
BS・110度CS 共用アンテナを接続する②

◀マンションなどの共用アンテナとの接続

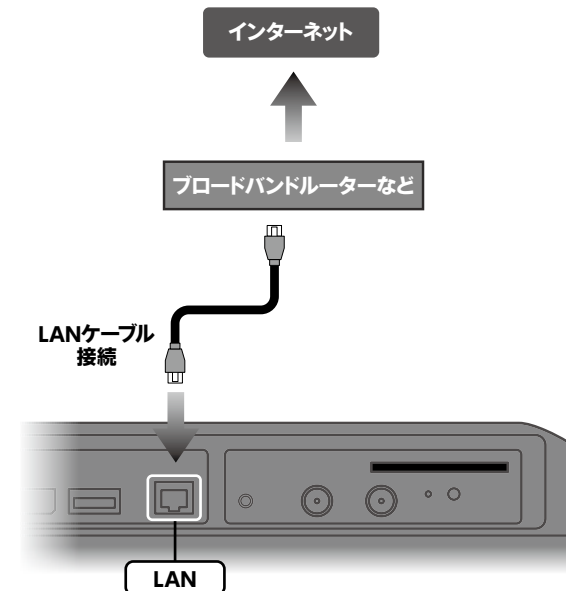
マンションなどの集合住宅では、地上デジタルや BS・110度CS デジタルを受信対応しているも、各部屋への配線は一本のアンテナ線に混在して設置されている場合があります。

このように BS・110度CS と VHF/UHF が混在されている場合は、市販の BS/UV 分波器を使用して、アンテナ線を分波してから本製品に接続します。分波器は 110度CS 帯域 (2150MHz) まで対応している金属シールドタイプをお使いください。

- アンテナ電源の設定を「オフ」に設定してください。
(⇒ 42 ページ)



LAN (ブロードバンド回線) に接続する



デジタル放送では、ブロードバンド回線でインターネットに接続して、データ放送の双方向サービスを利用することができます。

① 参考

双方向サービスを利用すると、本製品からテレビ局に向けて情報を送れます。視聴者参加型の番組に参加して楽しむことができます。例えばクイズ番組の回答を送ったりすることが出来ます。このサービスをご利用しない場合、LAN 接続は必要ありません。

本製品をブロードバンド回線に接続するには、別途、インターネット接続を提供する回線業者やプロバイダーへの加入契約が必要です。本書では、パソコンによるインターネット接続などで、すでにインターネット接続環境が整っていることを前提に説明いたします。

インターネット接続環境がなく、これから加入契約をする場合には、サービスを提供する回線業者やプロバイダーにご相談ください

- 回線業者やプロバイダーによっては、本製品とパソコンを何台も接続できない場合や、接続に当たって追加料金が必要な場合があります。回線業者やプロバイダーにご相談ください。
- 接続に必要な FTTH 回線終端装置、ケーブルモデム、ADSL モデム、ブロードバンドルーター、ハブ、スプリッターなどは、回線業者やプロバイダーの指定された製品をお使いください。
- 回線業者やプロバイダーから提供される説明書をよくお読みのうえ、インターネット接続に関する不明な点は回線業者やプロバイダーにお問い合わせください。
- USB 接続の ADSL モデムをお使いのときは、回線業者やプロバイダーにご相談ください。
- お使いの FTTH 回線終端装置、ケーブルモデム、または ADSL モデムにルーター機能がある場合は、市販の LAN ケーブルを使ってモデムポートの一つと本製品の LAN 端子を接続してください。モデムポートに空きがない場合は回線業者やプロバイダー指定のハブを使用して接続してください。
- お使いの FTTH 回線終端装置、ケーブルモデム、または ADSL モデムにルーター機能がない場合は、回線業者やプロバイダー指定のルーターを使用して接続してください。
- 初期設定の「ネットワーク設定」をおこなってください。(⇒ 44 ページ)

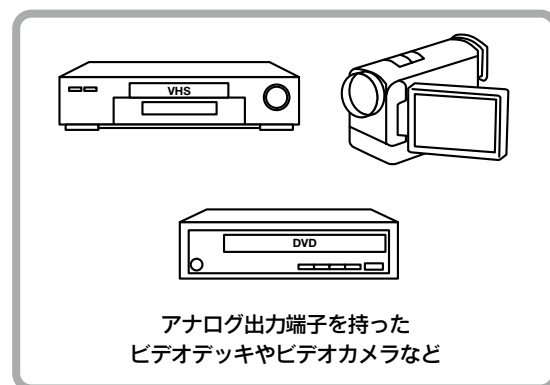
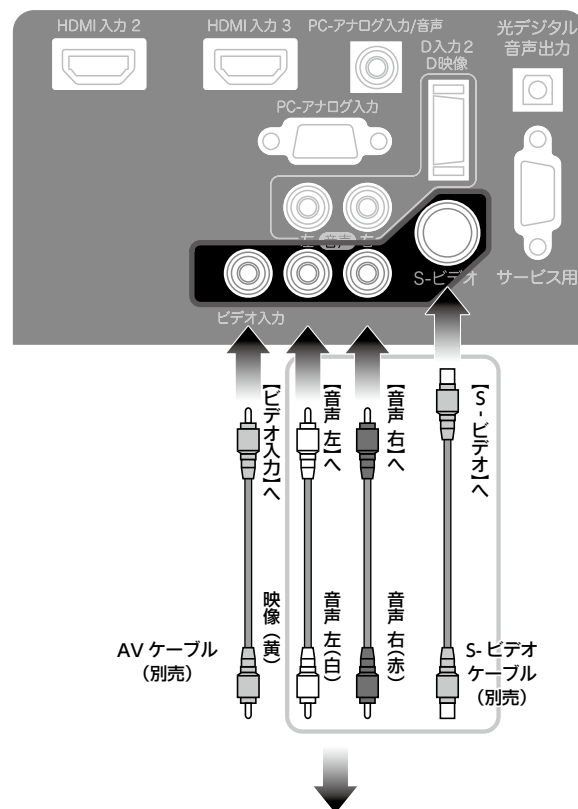
他の機器を接続する

本製品では、他の機器を接続して映像や音声を楽しんだり、本製品で受信した番組を他の機器に録画して楽しむことができます。

⚠注意

- 機器の接続は、本製品や接続する機器の電源を切っておこなってください。
- 接続ケーブルの抜き差しは、ケーブルでなくプラグを持ってしっかりとおこなってください。
- 映像や音声にノイズが出る場合には、機器間に十分な距離がとれるように配置してください。
- 接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

DVD プレーヤーなどを接続する

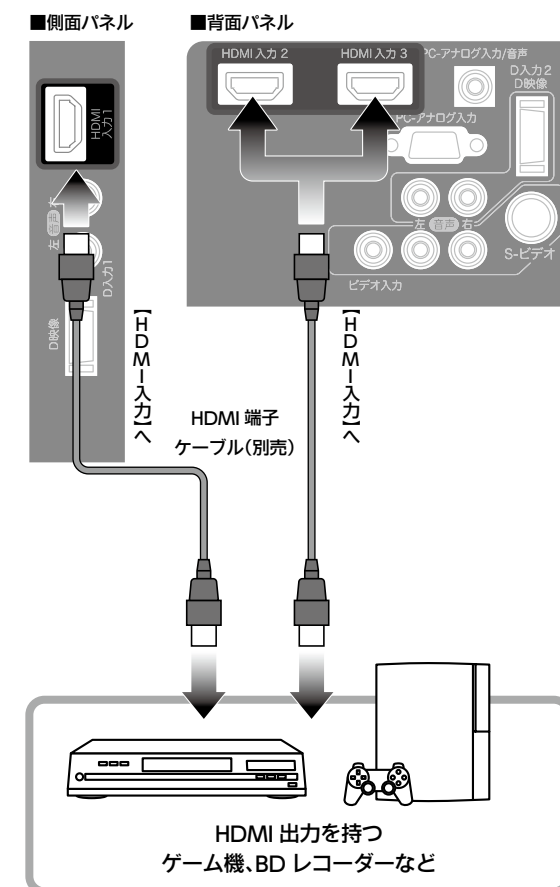
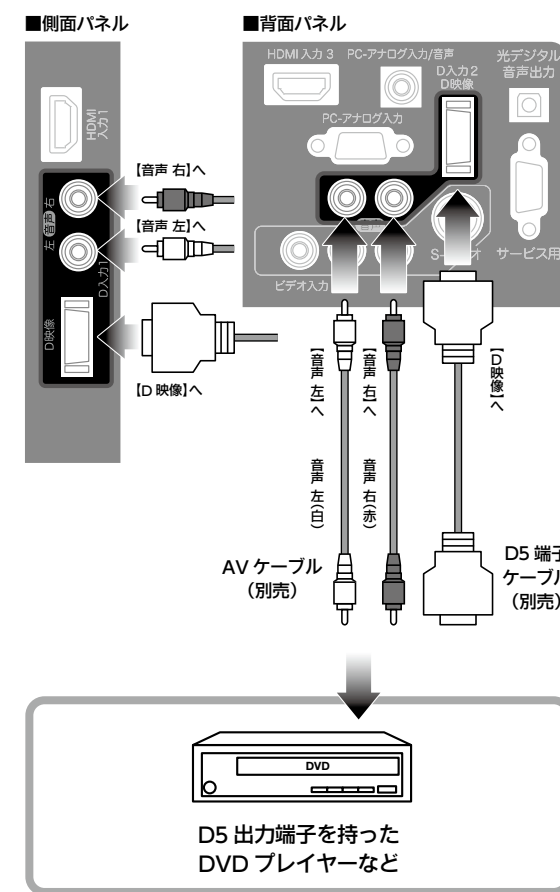


◀ビデオ入力端子に接続する

黄、赤、白の AV ケーブル（別売）でビデオデッキなどの AV 出力端子と、本製品のビデオ入力端子を接続します。プラグと端子の色をそれぞれ合わせて接続してください。

◀S-ビデオ入力端子に接続する

S ビデオケーブル（別売）を使用して S-ビデオ入力端子に接続することもできます。S ビデオの方がビデオ入力端子での接続より良い画質が得られます。音声については、ビデオ入力端子を使用する場合と同じく AV ケーブル（赤、白）で接続してください。



◀D 入力端子に接続する

D ケーブル（別売）を使用して、D 端子出力のある機器と D 入力 1（サイドパネル）または D 入力 2 端子（裏パネル）を接続します。音声は AV ケーブルで D 端子用の音声入力端子に接続します。

ⓘ参考

- 本製品の D 入力端子は D5 規格です。本製品は D 端子規格の（D1、D2、D3、D4 および D5）入力信号を自動的に判別して表示します。

D 端子の種類と対応信号フォーマット

	525i (480i)	525p (480p)	1125i (1080i)	750p (720p)	1125p (1080p)
D1	○	×	×	×	×
D2	○	○	×	×	×
D3	○	○	○	×	×
D4	○	○	○	○	×
D5	○	○	○	○	○

- 接続機器によっては、出力設定を D 端子にしなければ信号を出力しないものがあります。正しく接続しても映像が表示されない場合は、接続する機器の取扱説明書も合わせてご確認ください。

◀HDMI 端子に接続する

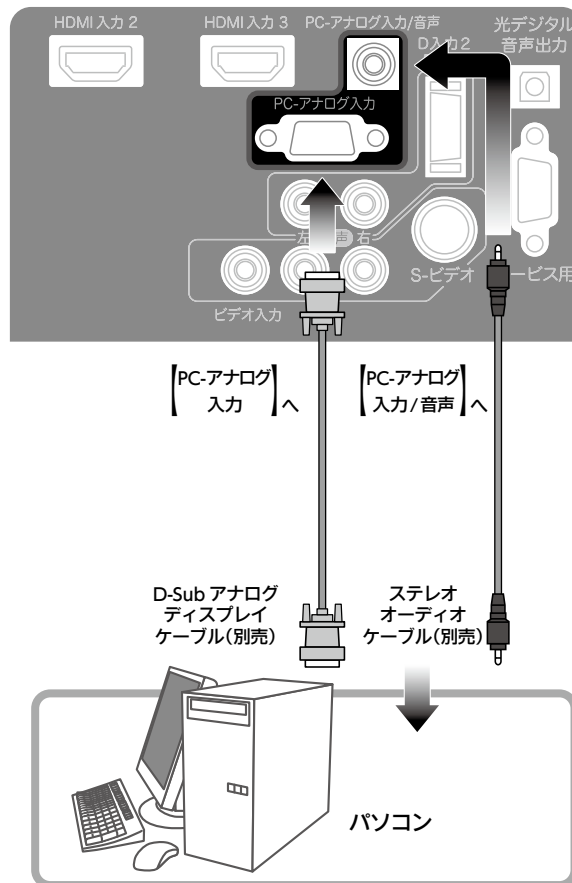
HDMI ケーブル（別売）を使用して、ハードディスクレコーダーやデジタルチューナーなどの HDMI 出力と本製品の HDMI 入力 1（サイドパネル）入力 2/3（裏パネル）のいずれかと接続してください。

HDMI 接続はデジタル信号で映像と音声を 1 本のケーブルで入力できます。

ⓘ参考

- DVI 出力のある機器の場合、DVI-HDMI 変換ケーブルを使うことで接続することができます。DVI 出力は映像のみとなりますので、接続する機器の音声出力を、本製品の D 端子用の音声入力端子にミニステレオ音声ケーブル（別売）を使用して接続してください。（DVI-HDMI 変換ケーブルを使用しての接続は保証しておりません。）
- 映像、音声が表示、出力されない場合は、接続する機器の取扱説明書も合わせてご確認ください。

パソコンを接続する



VGA ケーブル（別売）を使用して、パソコンの VGA 出力と、本製品の PC- アナログ入力を接続します。音声は、音声ケーブル（ミニステレオ）を PC- アナログ入力 / 音声に接続してください。対応フォーマットは以下の通りです。

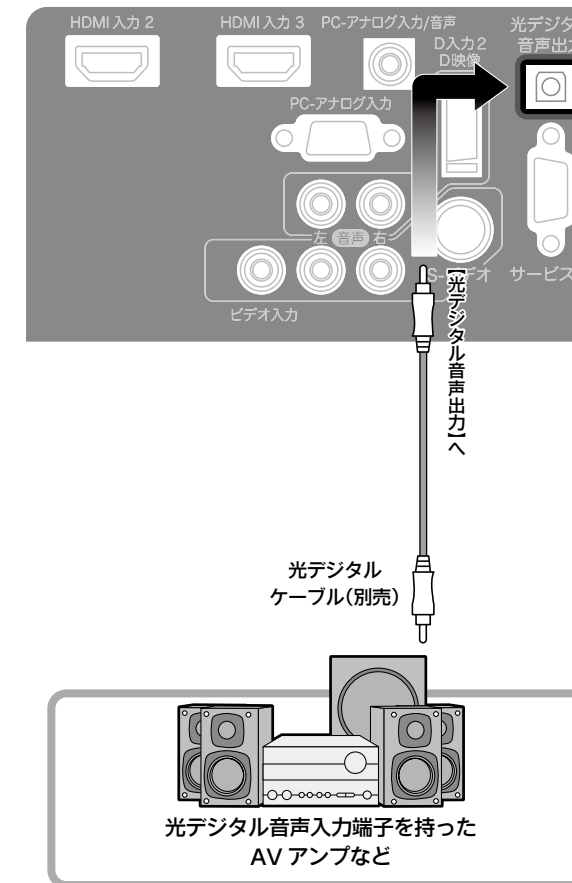
表示解像度	周波数
640 × 480	60/75Hz
720 × 400	70Hz
800 × 600	60/72/75Hz
1024 × 768	60/75Hz
1360 × 768	60Hz（ドットバイドット表示）
1920 × 1080	60Hz

本製品でパソコンの画面を表示するには、パソコン側で外部出力の設定が必要です。詳しくはパソコンの取扱説明書をご覧ください。

⚠注意

- 動作の検証は Windows2000/XP/Vista のみおこなっております。それ以外の PC での動作は保証いたしません。また、PC に搭載されているビデオカードによっては、上記のフォーマットでも表示できない場合があります。ご了承ください。

AV アンプなどを接続する



◀光デジタル音声出力

光デジタルケーブル（別売）を使用して、AV アンプなどの光デジタル音声入力と、本製品の光デジタル音声出力を接続します。

ホームシアターシステムなどと接続して 5.1ch の臨場感のある高音質な音声を楽しむことができます。

本製品では接続する機器に応じてデジタル音声出力の設定を以下の二つから選ぶことができます。(➡49 ページ)

●オート

デジタル放送（地上、BS、CS）受信時には AAC で、HDMI 入力端子からの音声は PCM で出力します。AAC 対応の AV アンプなどをつないでいるときに選択してください。

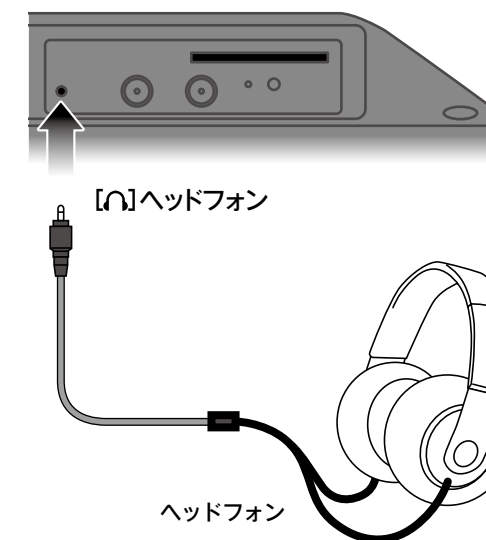
●PCM

お使いの AV アンプなどが AAC に対応していない場合は、PCM を選択してください。音声は PCM（2ch）の音声に変換されて出力されます。

ⓘ参考

- この端子からはデジタル放送（地上、BS、CS）受信時と HDMI 入力端子からの音声出力されます。

ヘッドフォンを接続する



市販のヘッドフォンを、本製品のヘッドフォン端子に接続します。

ⓘ参考

- ヘッドフォンを接続すると、本製品のスピーカーからは音声出力されません。

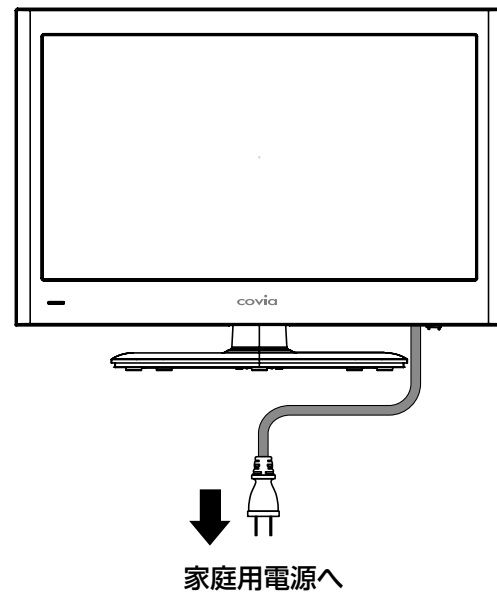
⚠注意

- ヘッドフォンを使用される場合は、適度な音量で、耳を必要以上に刺激しないようお楽しみください。過度な音量で長時間続けて聞くと、聴覚に悪い影響を及ぼすことがあります。視聴中に耳鳴りがするような場合は、音量を下げるか、使用を中止してください。また、ヘッドフォンをつけたまま眠ってしまうと、災害時などに避難が遅れてしまうなどの危険があります。呼びかけられた声が聞こえるくらいの音量でお聞きください。

電源コードの接続

接続する

全ての接続が済んだら、電源コードのプラグをコンセントに挿入して電源を入れてください。



電源に関するご注意

- 電源コードは必ず最後に接続してください。
- 本製品の電源プラグは、抜き差しがしやすい位置で壁のコンセントに直接差すようにしてください。
- 接続後は、電源プラグをコンセントに差したままご使用ください。
- 使用中に電源プラグを抜いたり、電源を突然遮断しないようにしてください。設定が消えたり、故障の原因となる場合があります。

テレビの基本操作

テレビを視聴するための本製品の基本的な使いかたについて説明しています。

ご使用の前に

本製品の準備

テレビの基本操作

設定メニューの使い方

その他

テレビの視聴をおこなう準備



- 本製品テレビの視聴を初めておこなう場合は、下記の設定をおこなってください。設定をせずに本製品を使用してもテレビ放送を正常に受信できないため、視聴できるはずの番組が視聴できなくなります。

デジタル放送を視聴する準備

① 本製品を準備する

デジタル放送を受信するには、以下の手順で準備をおこなってください。詳しくは、本書の「本製品の準備」(⇒ 19 ページ)をご覧ください。

- ① 専用のアンテナを接続する
- ② B-CAS カードの準備をする
- ③ 必要に応じて放送会社と契約する

② 本製品の設定をおこなう

本製品の初めてご利用、もしくは、お客様の居住地域が変わった場合は、必ず初期設定をおこなってください。上記の「本製品の準備」をおこなった後、設定メニューで「地域・郵便番号の設定」でお住まいの都道府県と郵便番号を設定し、「地上・BS・110 度 CS デジタル自動設定」(⇒ 42 ページ)の設定をおこなってください。

アナログ放送を視聴する準備

① 本製品を準備する

アナログ放送を受信するには、以下の手順で準備をおこなってください。詳しくは、本書の「本製品の準備」(⇒ 19 ページ)をご覧ください。

- ① 専用のアンテナを接続する

② 本製品の設定をおこなう

本製品の初めてご利用、もしくは、お客様の居住地域が変わった場合は、必ず初期設定をおこなってください。設定メニューの「地上アナログ自動設定」をおこなってください。(⇒ 42 ページ)。

電源と音量

電源を入れる / 切る

- ① 本体の主電源スイッチを入れます。
- ② **電 源** を押す。

❗ 参考

- 本製品は **電 源** ボタンで待機状態にただけでは完全に電源は切断されません。常に微弱な待機電流が流れています。旅行などで本製品を長期間使用しないときは、本体の主電源スイッチをオフにしてください。ただしデジタル放送の番組情報は、放送電波と一緒に送られてくるため、主電源スイッチを切っている場合は番組情報は取得できません。

音量を調節する

- +音量-** を押す。

一時的に音を消す

- 消 音** を押す。

もとに戻すには

再度 **消 音** を押すか **+音量-** を押して、お好みの音量に調節します。

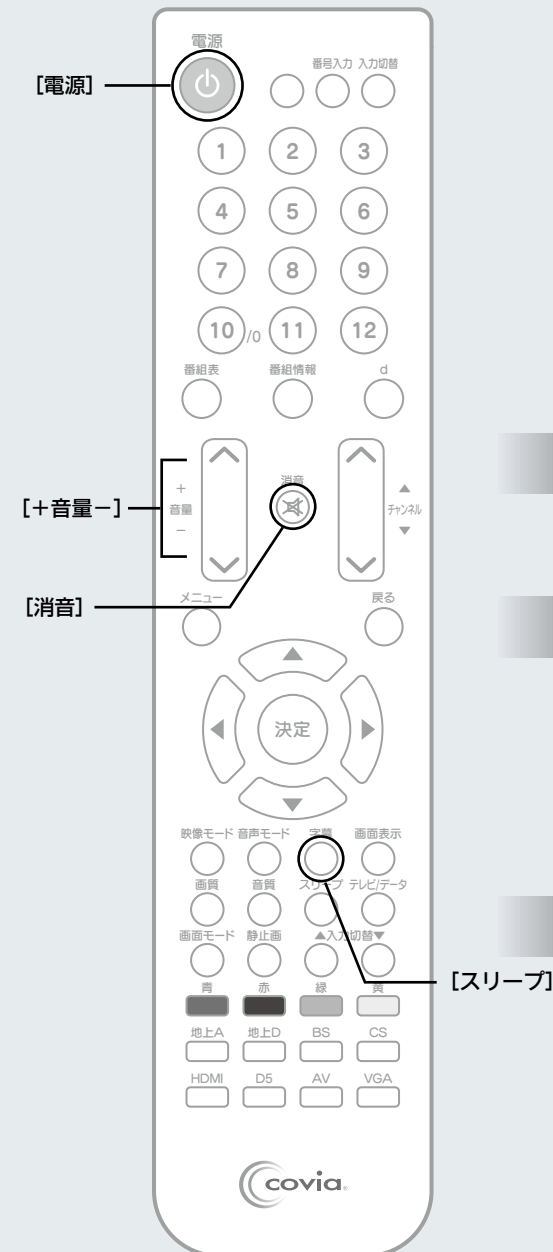
スリープタイマー

本製品の電源を切るまでの時間を設定します。

- スリープ** を押す

- 設定範囲

オフ、30 分、60 分、90 分、120 分



チャンネルを選択する

入力を切り替える

- ① **地上 A** / **地上 D** / **BS** / **CS** を押すか、**入力切替** を押して放送の種類を選びます。

チャンネル番号で選局する

- ① 視聴したいチャンネルのチャンネル番号を数字ボタンで入力します。

放送局番号で選局する (ケーブルテレビまたはデジタル放送)

- ① **番号入力** を押す。
- ② お好みの放送局の放送局番号を **[11]** から **[10]** までの数字ボタンで入力します。
- 「0 (ゼロ)」を入力する場合は **[10]** を押します。

選局ボタンで選局する

- ① **▲チャンネル▼** を押して選局します。

音声を切り替える

スピーカーから出力する音声を切り替えます。

- ① **音声モード** を押す
- 複数の音声があるときにこれを切り替えます。

画面モードを切り替える

映像の縦横比を切り替えます。

- ① **画面モード** を押す。
- 押すごとに、入力の種類ごとに設定されている画面モードの選択肢の中で切り替わります。

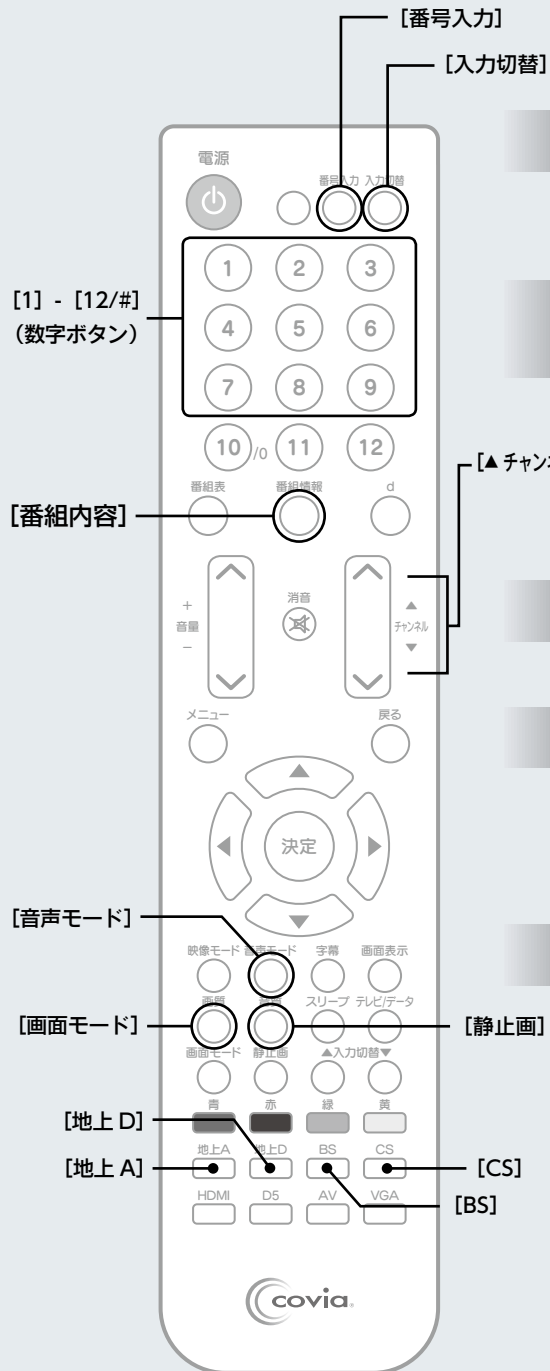
❗ 参考

- 入力信号が 1080i の場合は「フル」以外の選択はできません。
- 入力信号を確認するには **番組情報** を押します。

映像を静止させる

視聴中の画面の静止 / 静止の取り消しをします。

- ① **静止画** を押す。
- もう一度押すとともに戻ります。



デジタル放送を視聴する

共通の操作①

チャンネル情報を表示する

チャンネル情報を表示します。

- ① **画面表示** を押す。
- もう一度 **画面表示** を押すと、表示が消えます。

字幕を切り替える

放送中に表示される字幕の言語を切り替えます。

- ① **字幕** を押す。
- 字幕付きの放送受信時に、ボタンを押すごとにオフ、第一字幕言語、第二字幕言語の順で切り替わります。

データ放送を受信する

- ① **d** を押す。

❗ 参考

- データ放送をおこなっているチャンネルでのみ有効です。
- **▲▼◀▶** でデータ放送画面上の項目を選択することができます。
- データ放送画面からさらに別の画面へ移行することができます。画面上に **青** **赤** **緑** **黄** それぞれどの情報（天気予報、ニュース、...）へ移行するのかが表示されます。

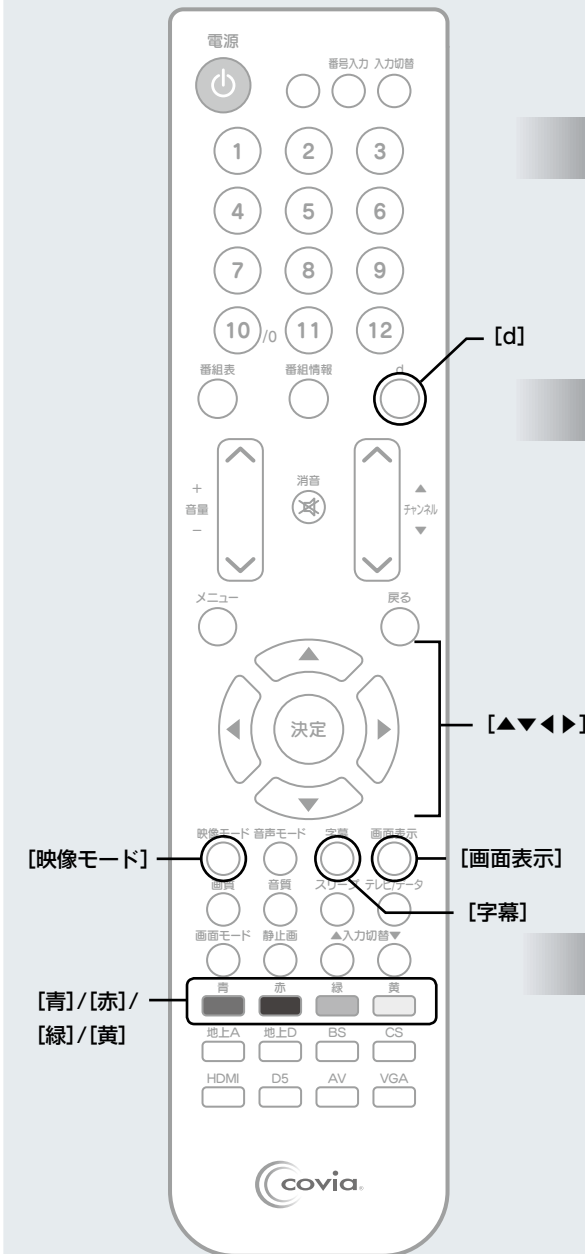
双方向通信をおこなう

双方向通信がおこなわれているチャンネルを受信した場合に、LAN 接続をしていると、双方向通信の画面が表示されます。

▲▼◀▶ で画面を切り替えたり、番組によっては **青** **赤** **緑** **黄** で、放送局へ様々なデータを送ることができます。詳しくは放送時に画面に表示される指示に従ってください。

❗ 参考

【映像切替】はマルチビュー放送のためのボタンで、本製品は対応してません。



デジタル放送を視聴する

共通の操作②

電子番組表を表示する

電子番組表（EPG）を表示します。

① **[番組表]** を押す。

[▲▼◀▶] を押して番組を選択し、**[決定]** を押すと番組情報（次項にて説明）が表示されます。

[青] を押すと番組表を一画面で6チャンネル表示または、3チャンネル表示を切り替えます。

[緑] を押すと、翌日の番組表を表示します。続けて押すと一週間先の番組まで表示させることができます。

[赤] を押すと、一日戻ります。

[黄] を押すとメニューが表示されジャンル別の番組検索をおこなう事ができます。

[▲▼] を押して放送の種類（地上デジタル・BSデジタル・110度CSデジタル）を選択して **[決定]** を押します。

[▲▼] でご希望の日を選択、**[決定]** を押します。

[▲▼] で大分類を選択して、**[決定]** を押します。

[▲▼] で中分類を選択して、**[決定]** を押します。

「検索開始」を選択して **[決定]** を押します。

① 参考

番組の放送時間が短い場合は番組表中に表示されませんが、カーソルを放送時刻に合わせると表示されます。

番組情報を表示する

選択中の番組の情報を表示します。

① **[番組情報]** を押す。

チャンネル番号・放送局名・放送時間・ジャンル種別・音声情報・映像情報などが表示されます。

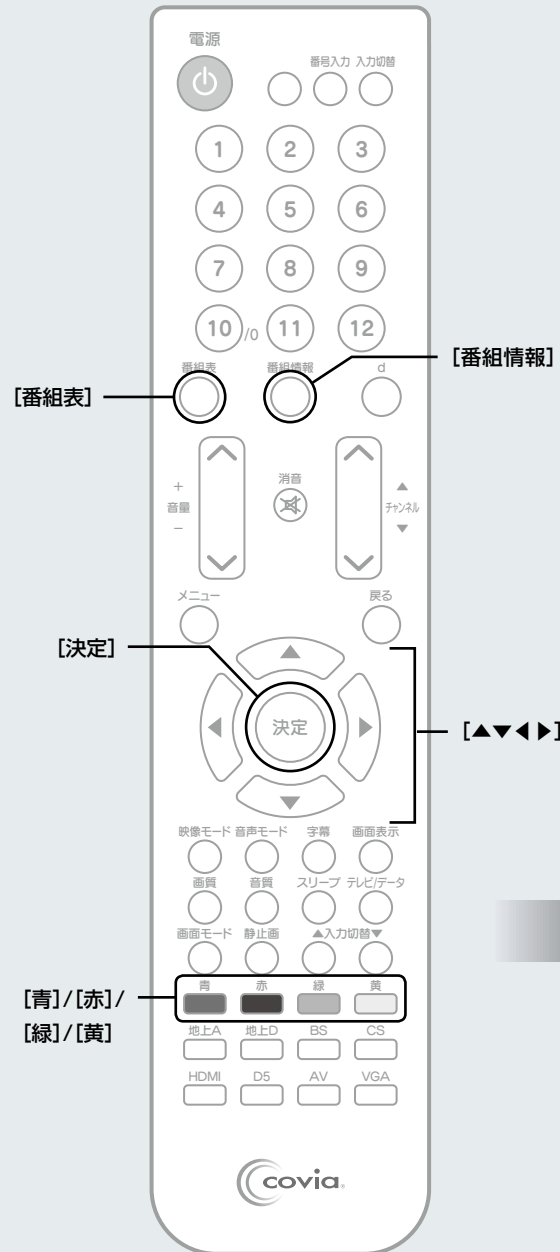
もう一度 **[番組情報]** を押すと、表示が消えます。

現在放送中の番組の場合は、**[黄]** を押してその番組を視聴できます。

これから放送予定の番組の場合は、**[黄]** を押して視聴予約ができます。

① 参考

視聴予約された番組は、番組表表示中に番組名の冒頭に赤い丸が、左側時刻表示部分に赤いバーが表示されます。



接続した機器を使う

接続した機器の映像を見る

① 接続を確認する

はじめに 28～31 ページの「他の機器を接続する」を参照して、他の機器との接続を確認してください。

② 入力を切り替える

① **[入力切替]** を押す。

② **[入力切替]** を再度押すか、**[▲▼]** を押して、希望する入力を選び、**[決定]** を押す。または、希望の入力ボタンを押して直接選択します。

地上アナログ TV：**[地上A]** を押す。

地上デジタル：**[地上D]** を押す。

BS デジタル：**[BS]** を押す。

CS1 デジタル：**[CS]** を押す。

CS2 デジタル：**[CS]** を 2 度押す。

ビデオ入力：**[AV]** を押す。

D 入力 1：**[D5]** を押す。

D 入力 2：**[D5]** を 2 度押す。

PC-アナログ入力：**[VGA]** を押す。

HDMI 入力 1：**[HDMI]** を押す。

HDMI 入力 2：**[HDMI]** を 2 度押す。

HDMI 入力 3：**[HDMI]** を 3 度押す。

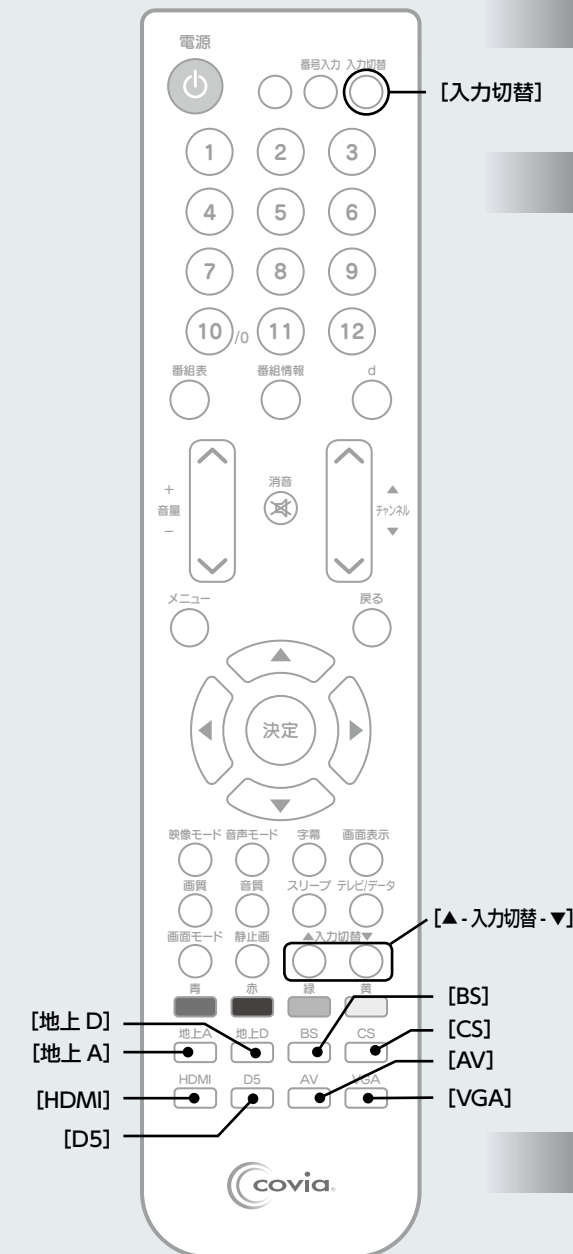
または **[▲入力切替▼]** を押すと順次で選択できます。

① 参考

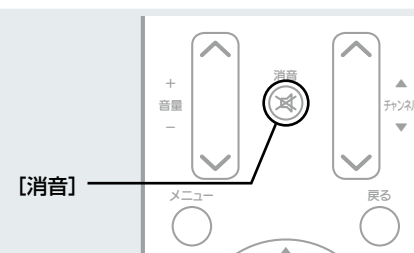
アナログ TV を選択中に（上向き矢印）を押した場合、または HDMI3 を選択中に（下向き矢印）を押した場合には入力は切り替わりません。

③ 接続した機器を再生する

接続した機器での再生やその他の操作に関しては、その機器の取扱説明書をご覧ください。



接続した機器を通して音声を聞く



お手持ちのホームシアターシステムなどの AV アンプを本製品と接続することで、デジタル放送の高品質な音声を楽しむことができます。31 ページをご覧ください。

① AV アンプを本製品接続端子からの入力に設定する

② **[消音]** を押して本製品を消音に設定する

設定メニューの使い方

本製品の設定メニューを使用して、テレビの設定を変更する使い方について説明しています。

設定メニューの基本的な使い方

設定メニューについて

本製品をご使用いただく上での基本的な設定は、設定メニュー画面を呼び出して設定をおこないます。

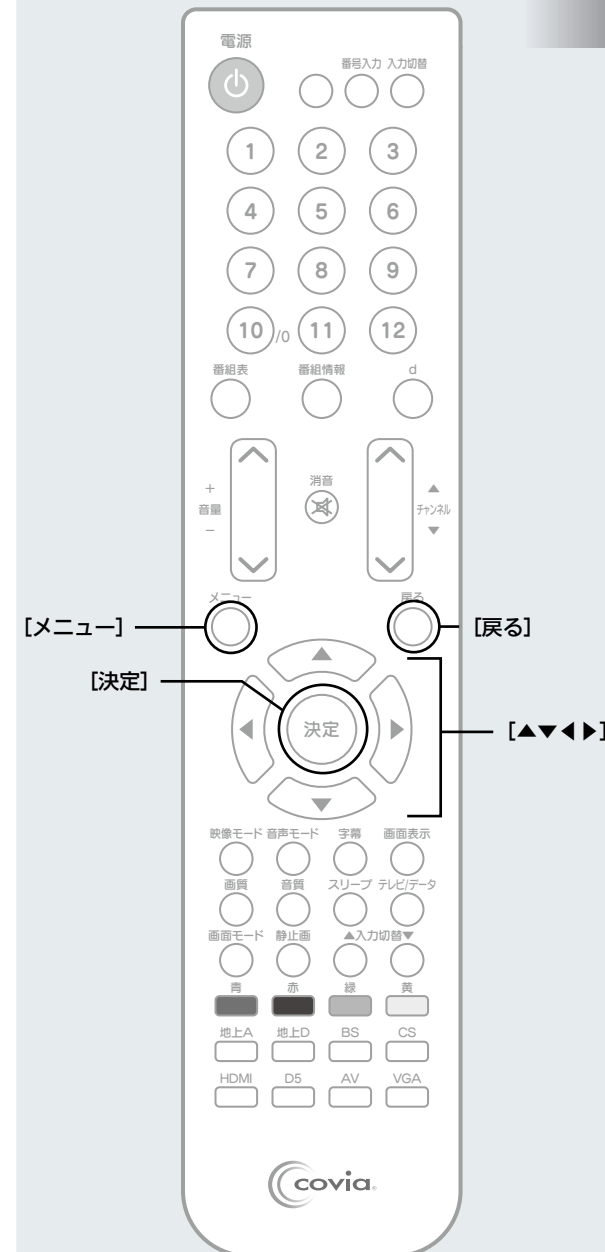
基本操作

設定メニュー中の基本的な操作方法是、次の①～⑤の操作の流れでおこないます。

- ① **[メニュー]** を押す。
- ② **[▲▼◀▶]** で項目を選択する。
- ③ **[決定]** を押す。
- ④ メニューによっては画面右側にサブメニューが表示されるので、**[▲▼]** で項目を選び、**[決定]** を押すと設定が確定されます。
- ⑤ **[戻る]** または再度 **[メニュー]** を押すと、一つ前のメニュー画面に戻ります。

❗ 参考

現在選択されている入力で設定が必要な無い項目は薄く表示され、変更をおこなう事はできません。



ご使用の前に

本製品の準備

テレビの基本操作

設定メニューの使い方

その他

本製品の初期設定をする

初期設定メニュー



■画面①



■画面②



■画面③



■画面④

ネットワークの設定

データ放送でインターネットに接続するためのネットワーク設定をします。

(←画面①)

IP アドレスの設定

本製品に IP アドレスを割り当てます。

本製品をルーター等に接続する場合、ルーターや契約プロバイダーの機能により、自動的に IP アドレスが割り当てられるときは、DHCP を「オン」に設定します。しばらくすると、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイに値が設定されます。

(←画面②)

手で IP アドレスを割り当てる場合には、DHCP を「オフ」に設定し、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイに値を入力します。

リモコンの数字ボタンを使用して値を設定します。
「0（ゼロ）」を入力する場合は【10】を使用します。
【設定終了】で設定を完了します。

DNS の設定

通常は DNS アドレス自動取得には「オン」を設定してください。

DNS アドレスを手動で設定する場合には、「オフ」に設定し、DNS プライマリ、DNS セカンダリアドレスに値を入力します。

数字ボタンを使用して値を設定します。

(←画面③)

【設定終了】で設定を完了します。

MAC アドレスを確認する

ネットワーク上の機器を識別するために、本製品に割り当てられている番号を表示します。

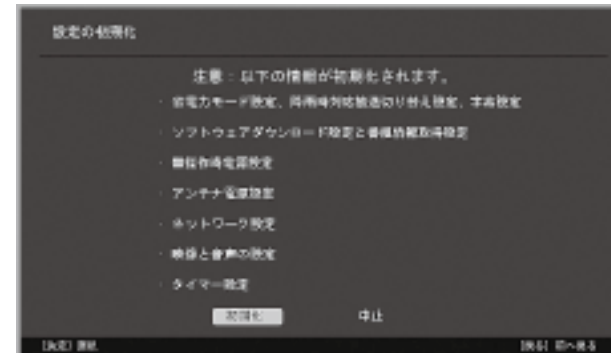
(←画面④)

接続テスト

上記の設定が終了した後、正常にインターネットに接続できるか、ネットワークの接続テストをおこないます。

本製品の初期設定をする

初期設定メニュー



■画面①

設定の初期化

「設定の初期化」を選択すると設定が初期化される項目が表示されます。初期化をおこなった場合、これらの項目を元に戻す事はできません。よく確認をして「初期化」または「中止」を選択して【決定】を押してください。
(←画面①)



■画面②

地域・郵便番号の設定

地域設定

チャンネル情報を正しく割り当てるために、お住まいの地域を設定します。
地域を選択すると、右側に県名または、地域が表示されるため、お住まいの県名、または地域を選択して【決定】を押します。
(←画面②)

郵便番号設定

お住まいの地域の郵便番号を設定します。リモコンの数字ボタンを使って郵便番号を入力してください。
「0（ゼロ）」を入力する場合は【10】を使用します。
(←画面③)

【設定終了】で設定を完了します。



■画面③

設定メニューで様々な設定をする

映像設定



コントラスト

映像のコントラストを調節します。

設定範囲	設定効果
0 ~ 100	・コントラスト値を増加 映像の白い部分のコントラストが強くなる。 ・コントラスト値を減少 映像の黒い部分のコントラストが強くなる。

明るさ

映像の明るさを調節します。

設定範囲	設定効果
0 ~ 100	・明るさ値を増加 映像の暗い部分が明るくなる。 ・明るさ値を減少 映像の明るい部分が暗くなる。

色の濃さ

映像の色の濃さを調節します。

設定範囲	設定効果
0 ~ 100	・色の濃さ値を増加 映像の色調が濃くなる。 ・色の濃さ値を減少 映像の色調が薄くなる。

色合い

映像の色合いを調節します。

設定範囲	設定効果
- 50 ~ 50	・色合い値を増加 映像の色調が鮮やかになる。 ・色合い値を減少 映像の色調が淡くなる。

シャープネス

映像のクリア度を調節します。

設定範囲	設定効果
0 ~ 100	・シャープネス値を増加 映像がよりクリアになる。 ・シャープネス値を減少 映像がよりスムーズになる。

バックライト

映像の明るさを調節します。
部屋が暗いときは、バックライトを低くすることをお奨めします。消費電力も低く抑えます。

設定範囲	設定効果
0 ~ 100	・バックライト値を増加 画面全体が明るくなる。 ・バックライト値を減少 画面全体が暗くなる。

画質モード

本製品のプリセットの映像設定を呼び出します。

選択項目	設定効果
標準	標準の画質モードです。
ダイナミック	コントラスト・明るさ・色の濃さを通常よりやや高めに設定します。鮮明な印象の画質モードです。
シネマ	コントラスト・明るさをやや低めに設定します。映画放送に適した画質モードです。
ユーザー設定	コントラスト・明るさ・色の濃さ・色合い・シャープネス・バックライトのいずれかをお好みで調整すると自動的にこのモードになります。

画面モード

画格を設定します。

	■ 標準 横縦比 4 : 3 の映像をそのままの比率で縦いっぱいに表示します。左右両端に黒い部分が表示されます。
	■ ズーム 標準の映像をそのままの比率で約 1.67 倍に拡大して表示します。左右両端に黒い部分が表示されます。映像の上下が切れます。
	■ シネマ 標準の映像をそのままの比率で拡大して横いっぱいに表示します。映像の上が切れます。
	■ フル 横縦比 4 : 3 の映像の場合は横方向のみに拡げて表示します。横縦比 16 : 9 の映像はそのままの比率画面いっぱいに表示します。
	■ パノラマ 横縦比 4 : 3 の映像を横方向にのみ拡げて表示しますが、センター部分から左右にいくにつれて拡げる率が大きくなります。
	■ ドットバイドット 映像をオリジナルの解像度で表示します。

① 参考

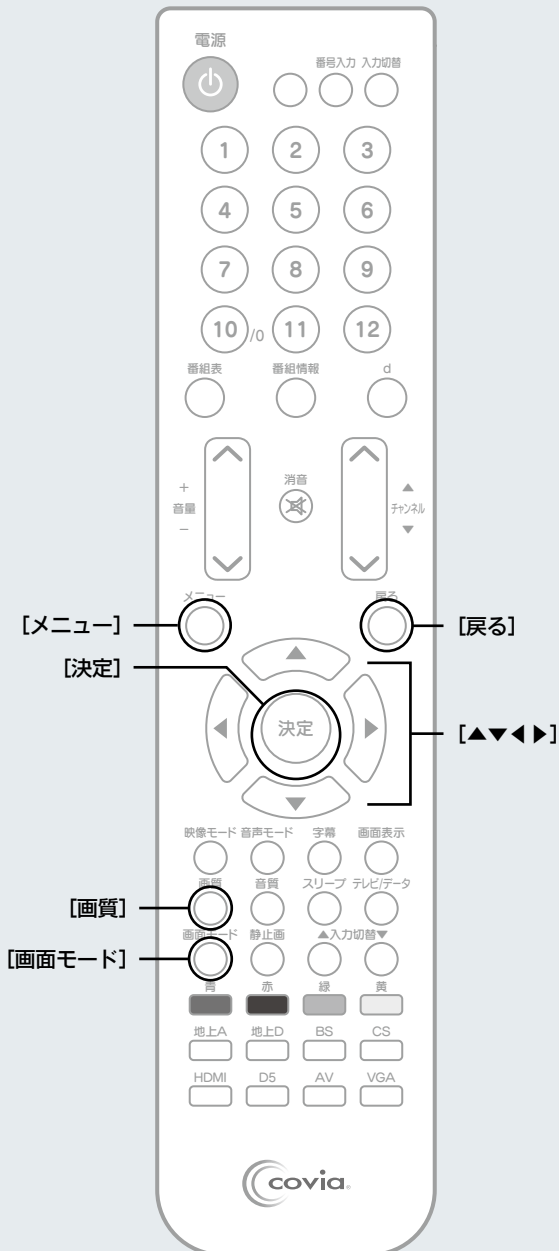
- リモコンの **〔画面モード〕** を押して設定できます。
- 選択できる画面モードは、入力信号によって制限があります。たとえば、1080i の信号受信中は「フル」しか選択できません。

画質詳細設定

サブメニューが表示されます。



色温度	
映像の色温度を設定します。	
選択項目	設定効果
標準	標準の色温度に設定します。
暖色	赤っぽくなります。
冷色	青っぽくなります。
ノイズリダクション	
ノイズの削減レベルを選択します。	
選択項目	設定効果
強	削減する割合を高くします。
中	削減する割合を、高と低の中間にします。
弱	削減する割合を低くします。
オフ	ノイズリダクションを使用しません。
ビデオエクスパンダー	
ダイナミックにコントラストを改善します。	
選択項目	設定効果
オン	ビデオエクスパンダーを有効にします。
オフ	ビデオエクスパンダーを無効にします。
ファインシネマ	
映画にふさわしい画面にします。アナログテレビ・映像入力端子・S-ビデオ入力端子からのシグナルにのみ有効です。	
選択項目	設定効果
オン	ファインシネマを有効にします。
オフ	ファインシネマを無効にします。
オートコントラスト	
映像にあわせてバックライトを調節します。	
選択項目	設定効果
オン	オートコントラストを有効にします。
オフ	オートコントラストを無効にします。



音声設定



本製品の音声出力を設定します。

低音

低音の強弱を調整します。

設定範囲	設定効果
0 ~ 100	• 低音値を増加 音声の低音部分が強調されて出力します。 • 低音値を減少 音声の低音部分が減少されて出力します。

高音

高音の強弱を調整します。

設定範囲	設定効果
0 ~ 100	• 高音値を増加 音声の高音部分が強調されて出力します。 • 高音値を減少 音声の高音部分が減少されて出力します。

バランス

左右のスピーカーの出力バランスを調整します。

設定範囲	設定効果
- 50 ~ + 50	• - (マイナス) 値に設定 左のスピーカーの音声を大きくします。 • + (プラス) 値に設定 右のスピーカーの音声を大きくします。

サラウンド

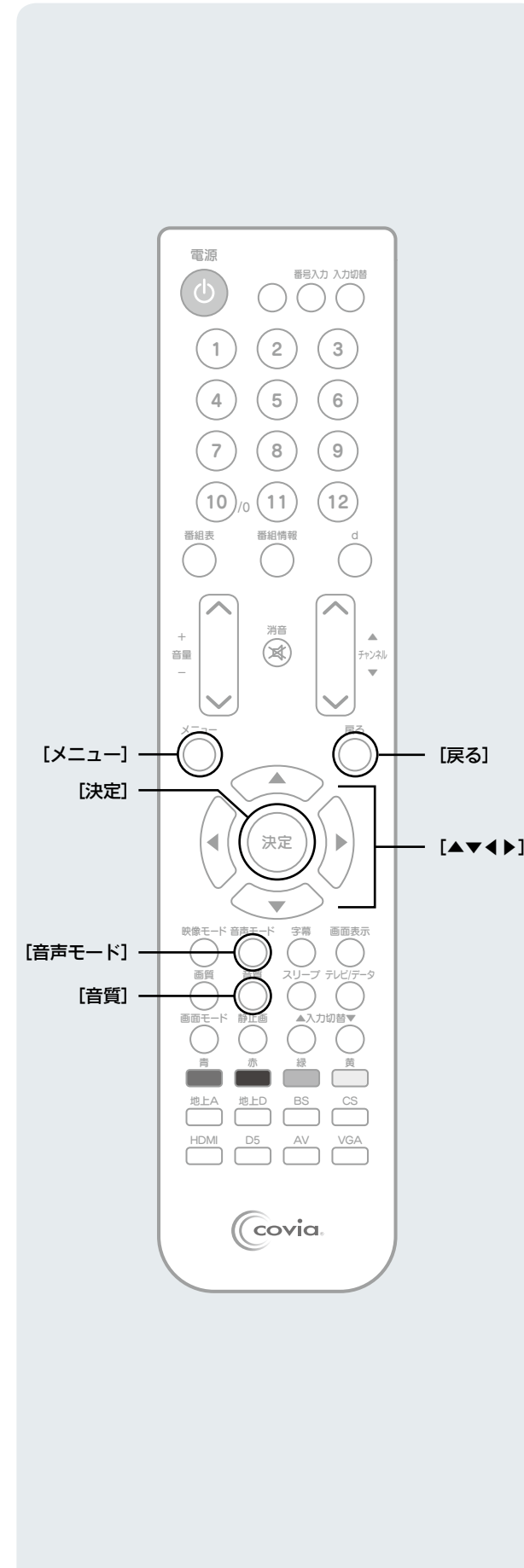
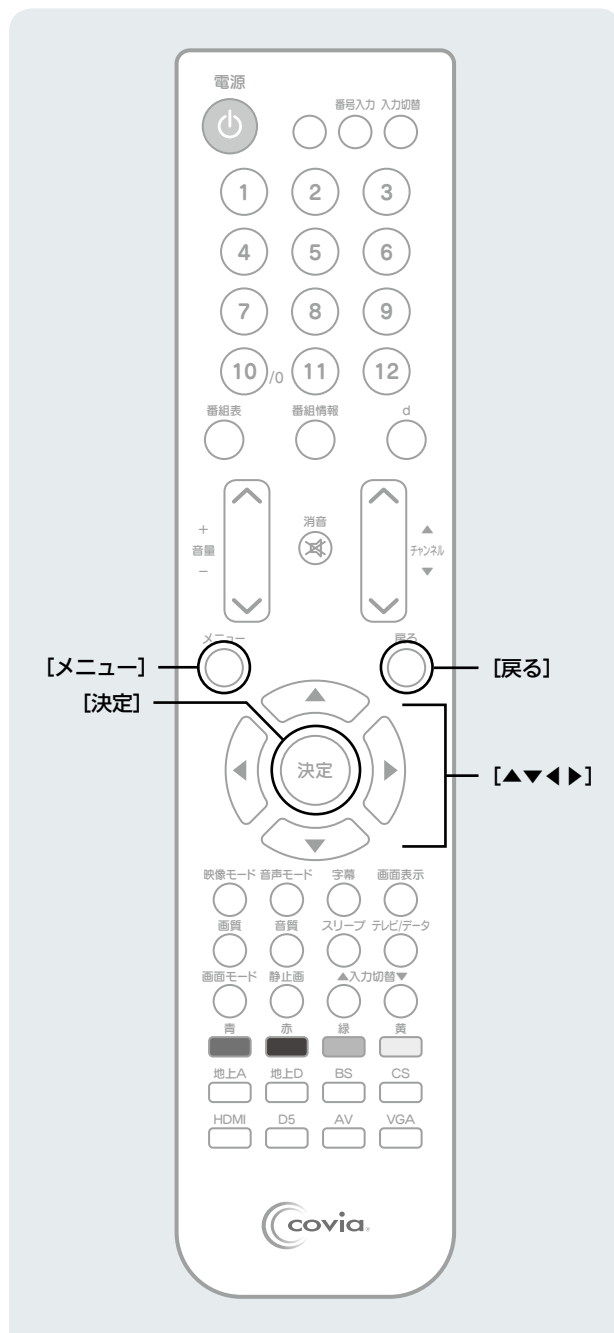
サラウンド音響効果の設定をします。

選択項目	設定効果
オン	サラウンド効果を有効にします。
オフ	サラウンド効果を使用しません。

自動音量調整

異なった音声入力間の音量差を自動的に調整します。

選択項目	設定効果
オン	自動で音量を調節します。
オフ	音量の調節は起こないません。



光音声出力

光デジタル音声出力端子から AV アンプなどを接続するときの、音声出力形式を設定します。

選択項目	設定効果
オート	デジタル放送（地上、BS、CS）受信時には AAC で、HDMI 入力端子からの音声は PCM で出力します。
PCM	音声は PCM（2ch）に変換されて出力されます。

音声モード

複数の音声がある放送を視聴中の場合は、画面右上に現在の音声が表示されます。◀▶ を押して視聴したい音声に切り替えてください。

音質モード

本製品の音質を設定します。

選択項目	設定効果
音楽	高音・低音とも強調します。
シネマ	映画に向けた設定です。
ニュース	高音・低音をやや抑えます。
ユーザー設定	低音・高音のいずれかを調整すると自動的にこのモードになります。

ご使用の前に

本製品の準備

テレビの基本操作

設定メニューの使い方

その他

機器設定①



本製品の設定をします。

表示言語 /Language

設定メニューの言語を設定をします。

選択項目	設定効果
日本語	日本語で表示します。
English	英語で表示します。

視聴制限設定

このメニューを選択すると、まず最初に暗証番号入力画面になります。工場出荷時の暗証番号は 0000 に設定されています。初めて設定をおこなうときは、この番号を入力してください。正しい暗証番号を入力するとサブメニュー画面が表示されます。

視聴年齢制限設定

パレンタルコード（視聴制限コード）が設定されている番組の視聴の制限設定をおこないます。〔決定〕を押してサブメニューを表示させ、制限したい年齢を選択して再度〔決定〕を押してください。

選択項目	設定効果
制限なし	視聴年齢制限をおこないません。
4 歳～ 18 歳まで	1 歳刻みで設定することができます。

① 参考

設定された視聴制限を超えている番組を受信時した場合、暗証番号入力画面が表示され、正しい暗証番号が入力されないとその番組の視聴することができません。

暗証番号設定

視聴制限に使う暗証番号を設定・変更します。

- ①現在の暗証番号を入力する
- ②新しい暗証番号を【1】から【10】までの数字ボタンで入力し、〔決定〕を押す
- 「0（ゼロ）」を入力する場合は【10】を使用します。
- ③新しい暗証番号を再入力して〔決定〕を押す

暗証番号削除

暗証番号を削除し、視聴制限を無効にします。現在の暗証番号の確認を求められ、有効な暗証番号を入力すると削除されます。再度暗証番号を設定するには、「暗証番号設定」メニューからもう一度設定をおこなってください。（この場合、現在の暗証番号を入れる画面は表示されません。）

⚠ 注意

暗証番号は必ず紙などに書いて保存し、忘れたり無くなりしないようにご注意ください。暗証番号がわからなくなると、初期化および再設定が必要になり、登録された設定やデータが初期化されてしまいます。

省エネモード

バックライト量を減少させ、消費電力を抑えます。通常はオンにする事をおすすめします。

選択項目	設定効果
オン	省エネモードに設定します。
オフ	省エネモードをキャンセルします。

無信号自動電源オフ

15 分以上放送や外部入力を受信せず、どの操作ボタンも押されなかった場合に電源をオフにする機能です。

選択項目	設定効果
オン	自動で電源をオフにします。（待機状態）
オフ	自動で電源をオフにしません。

ダウンロード設定

サブメニューが表示されます。

放送からのダウンロード

本製品には、デジタル放送のみに関連する部分のソフトウェアを自動的に更新する機能があります。最新のソフトウェアはデジタル放送電波の中に含まれて送信されます。【自動】と設定しておく、常に最新版のソフトウェアで、本製品をお使いいただく事ができます。通常は【自動】をお選びください。

選択項目	設定効果
自動	自動でソフトウェアをダウンロードします。
オフ	ダウンロードはおこないません。

ソフトウェアバージョン

本製品のソフトウェアのバージョンを表示します。

番組情報更新設定

サブメニューが表示されます。

全番組情報の取得更新：

ただちに全番組の情報を更新します。

「はい」または「いいえ」を選択して〔決定〕を押します。

番組情報自動更新：

毎日午前 1 時に自動的に番組情報を取得し更新をおこなう設定します。

選択項目	設定効果
オン	番組情報の自動更新をおこないます。
オフ	自動更新はおこないません。



機器情報

B-CAS カード情報

本製品に挿入されている B-CAS カードの番号を表示します。

地域設定

お住まいの地域を設定します。

まず地域を選択して〔決定〕を押します。右側の県名および地域表示部分にカーソルが移動しますので、お住まいの地域を選択して〔決定〕を押します。

郵便番号設定

お住まいの地域の郵便番号を設定します。数字ボタンを使って入力してください。

〔設定終了〕で設定を完了します。

- 「0（ゼロ）」を入力する場合は【10】を使用します。

放送メール

サブメニューが表示されます。

メール

放送局からの通知メール等の受信したメールを表示します。

CS 掲示板

110 度 CS デジタル放送波より通知される掲示板情報を表示します。

機器設定②



受信設定

字幕切換

字幕の言語設定をおこないます。

選択項目	設定効果
字幕第一言語	第一言語で表示します。
字幕第二言語	第二言語で表示します。
オフ	字幕を表示しません。

文字スーパー表示

文字スーパーの言語を設定します。

選択項目	設定効果
第一言語	第一言語で表示します。
第二言語	第二言語で表示します。
オフ	文字スーパーを表示しません。

テレビ／データ切換

地上デジタル放送 /BS・110 度 CS デジタル放送には、放送番組に連動したデータ放送サービスと、放送番組とは独立したデータ放送サービスの二つデータ放送サービスがあります。このメニューでは放送番組とは別の独立したデータ放送サービスの受信を設定します。

① 参考

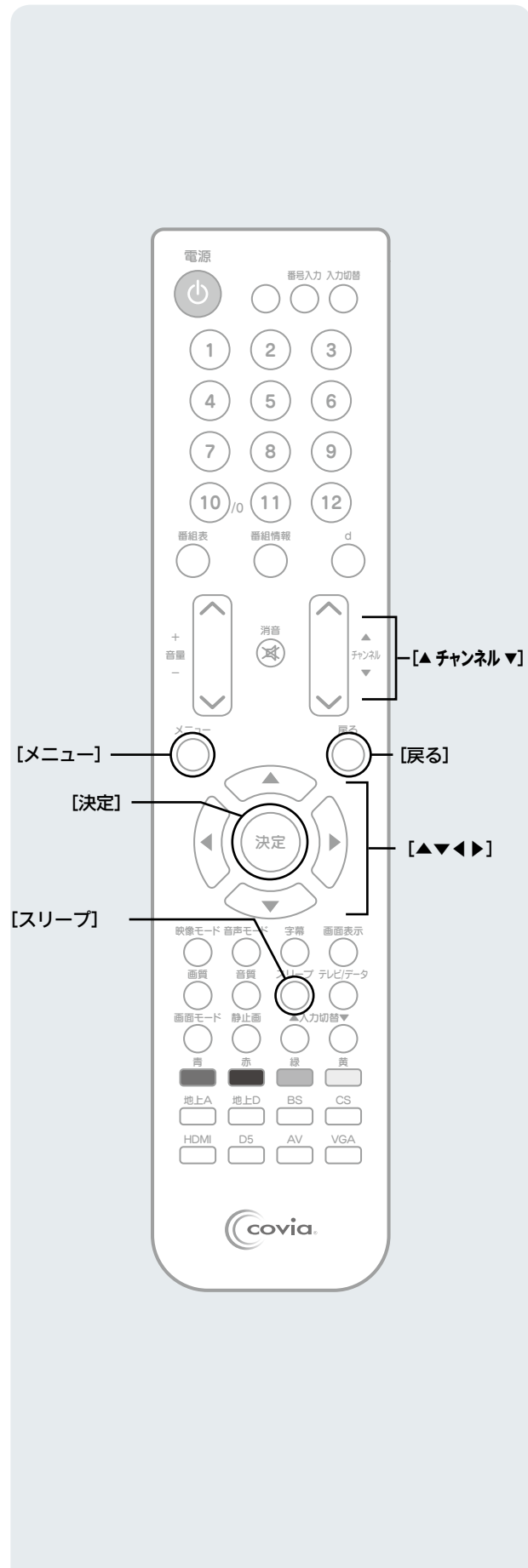
放送番組と連動したデータ放送をご覧になりたい場合にはリモコンの [d] ボタンを押してください。

選択項目	設定効果
テレビ	通常のテレビ放送
データ	独立したデータ放送

降雨対応放送切換

降雨対応放送とは、天候の悪化などで BS・110 度 CS 放送の受信状態が悪い時に画質や音質が通常放送に比べて低下した状態で受信して視聴を継続できるようにするものです。通常はオートに設定してください。

選択項目	設定効果
オート	自動で切り替えて放送を受信します。
オフ	切り替えをおこないません。



タイマー設定

スリープタイマー

本製品の電源を切るまでの時間を設定します。

設定範囲	設定効果
オフ～ 120 分	オフ、30 分、60 分、90 分、120 分のなかから電源を切る（待機状態）までの時間を選択します。

① 参考

[スリープ] を押して設定できます。

ご使用の前に

本製品の準備

テレビの基本操作

設定メニューの使い方

その他

画面調整（PC 接続の設定）



この項目は VGA 入力時に限り設定が可能です。
以下の設定は VGA 入力映像を見ながら調整します。

水平位置

画像の水平位置を調整します。

初期値	設定範囲
0	− 10（左に移動）～+ 10（右に移動）の間で設定します。

垂直位置

画像の垂直位置を調整します。

初期値	設定範囲
0	− 10（上に移動）～+ 10（下に移動）の間で設定します。

水平サイズ

画面の水平サイズを調整します。

初期値	設定範囲
0	− 10（左右に縮まる）～+ 10（左右に広がる）の間で設定します。

垂直サイズ

画面の垂直サイズを調整します。

初期値	設定範囲
0	− 10（上下に縮まる）～+ 10（上下に広がる）の間で設定します。

クロック

入力信号のサンプリング時間を調整します。画面に縦縞が出る場合に調整してください。

初期値	設定範囲
0	− 50 ～+ 50 の間で設定します。

位相

入力信号のサンプリング周波数を調整します。画面がちらつくときに調整してください。

初期値	設定範囲
0	− 50（小）～+ 50（大）の間で設定します。

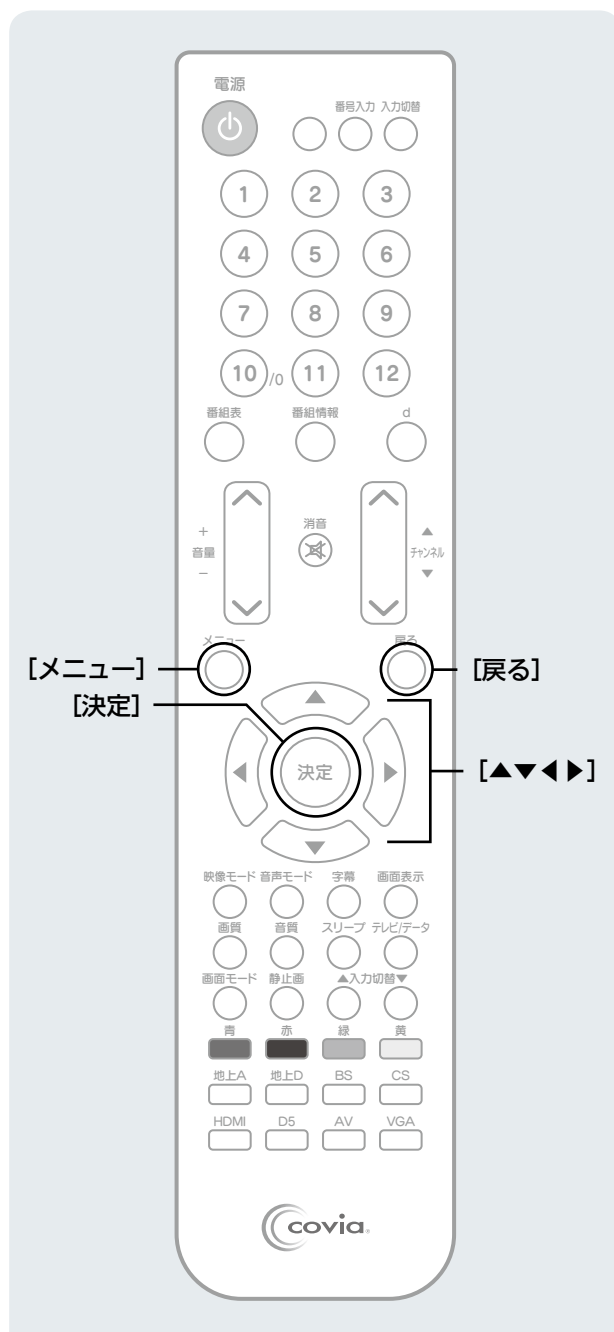
自動調整

「はい」を選択すると入力信号に合わせ、自動的に画面が最適になるよう調整します。

接続した機器、入力信号により、最適化されない場合がありますので、その場合には、手動で調整してください。

設定の初期化

決定 を押すと、すべての画面調整の値を工場出荷時に戻します。



その他

本製品のよくあるご質問と主な仕様を記載します。

ご使用の前に

本製品の準備

テレビの基本操作

設定メニューの使い方

その他

故障かな？と思ったら

お問い合わせの前に

まず、以下の箇所に問題が無いかご確認ください。

- アンテナ線や電源コード、外部機器との接続が正しくおこなわれているか？
- 入力切替で選択した放送や外部機器が正しく選択されているか？

以下の状態は故障ではありません。

- 液晶画面の中に、点灯したままの点、または点灯しない点がある
画面上に赤や青、緑の点（輝点）が消えなかったり、黒い点（滅点）が表れたりしますが、故障ではありません。液晶画面は非常に精密な技術で製造されており、99.99% 以上は正常に機能する画素ですが、技術的な限界でごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素が発生します。
- ときどき本製品からきしみ音が聞こえる
本製品は使用時に本体が温かくなる程度の熱を発します。これにより周囲との温度差でキャビネットがわずかに収縮し、きしみ音を発する場合があります。これは故障ではなく、性能等におよぼす悪影響もありません。
- デジタル放送のチャンネルを変えたり、番組が切り替わったりするときにノイズが出る
デジタルハイビジョン信号と標準テレビ信号など、解像度の異なる映像が切り替わるときに、同期信号などが白い線として見えることがあります。
- 豪雨や豪雪など悪天候のときに、映像が乱れたり、放送が受信できなくなる
衛星放送のアンテナは、比較的天候の影響を受けやすいため、悪天候の際は受信感度が落ちることがあります。受信する地域が晴れていても、放映している地域の天候が悪いと、映像が乱れたり、受信できなくなる場合があります。
- 深夜一時的に放送が受信できなくなる
衛星放送の場合、春分の日や秋分の日的前後 20 日程度は、放送用衛星が地球の陰に入ってしまうため、深夜一時的に放送を受信できなくなることがあります。

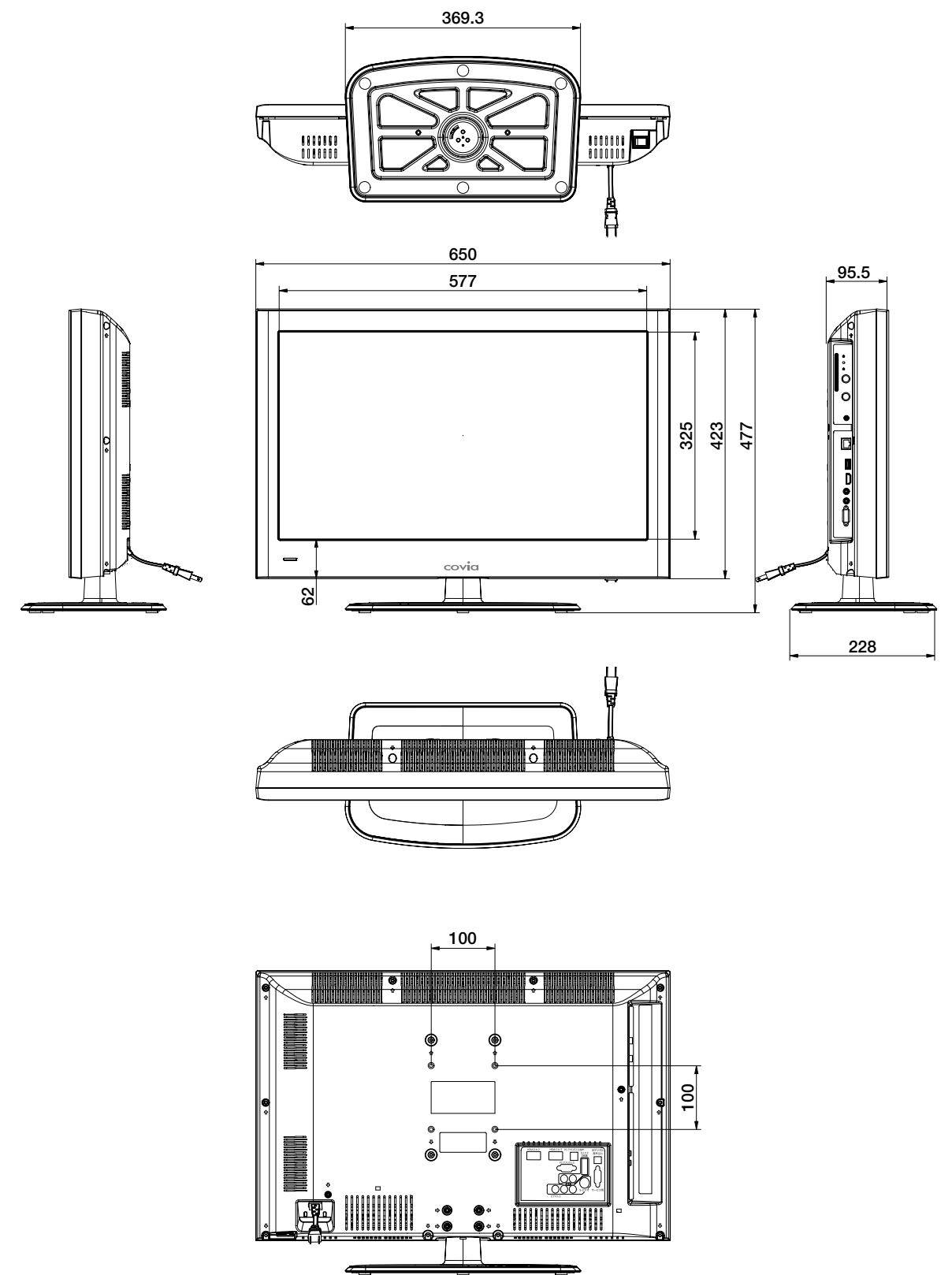
エラーコード一覧

エラー番号	メッセージ	対処方法
なし	xx 秒後に電源が切れます。どれかボタンを押すと解除されます。	スリープタイマーにより電源を切るまでの時間を表示しています。スリープタイマーを解除するにはどれかボタンを押してください。
なし	チャンネルを切り替えますか？	登録していない有料放送チャンネルに切り替えようとしています。他のチャンネルに選りなおしてください。
なし	予約されています。	既に視聴予約された番組を選択しています。
なし	予約チャンネルに切り替えます。	視聴予約された番組に切り換ります。
なし	未読メールがあります。	放送局からのメールを受信しています。機器情報メニューを使ってメールをご確認ください。
なし	B-CAS カードが正しく挿入されていません。B-CAS カードをご確認ください。	カードが正しい向きで挿入されているかご確認ください。
A10X	この B-CAS カードはご使用になれません。ご覧の放送局のカスタマーセンターお問い合わせください。(A10X)	正しい B-CAS カードを挿入してください。カードの IC 部の汚れや、破損などでカードが正しく認識されない可能性があります。正しく挿入しても改善しない場合は、ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズのカスタマーセンターにご連絡ください。
A103	B-CAS カードの交換が必要です。B-CAS カスタマーセンターへご連絡ください。(A103)	B-CAS カードが故障している、または交換の必要性があります。B-CAS カードの抜き差しをし、改善されない場合には、ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズのカスタマーセンターにご連絡ください。
A10X	この番組をご覧になるには契約が必要です。詳細はご覧の放送局のカスタマーセンターにお問い合わせください。(A10X)	契約されていない番組を選局しています。別のチャンネルに変更するか、該当する放送局と契約をしてください。
830X	このチャンネルはご覧いただけません。ご覧の放送局のカスタマーセンターへご連絡ください。(830X)	契約されていない番組を選局しています。別のチャンネルを選択するか、該当する放送局と視聴契約をしてください。
830X	契約期限が切れています。ご覧の放送局のカスタマーセンターへご連絡ください。(830X)	契約期限が切れた番組を選局しています。別のチャンネルを選択するか、該当する放送局との契約を更新してください。
830X	番組に視聴制限があるためご覧になれません。ご覧の放送局のカスタマーセンターへご連絡ください。(830X)	契約されていない番組を選局しています。別のチャンネルを選択するか、該当する放送局と視聴契約をしてください。
E201	信号レベルが低下しています。(E201)	降雨、積雪などの影響により、電波が弱くなったため、引き続き放送を受信できる低階層映像に切り替えました。画質、音質などが少し悪くなり、音楽情報が表示できないこともあります。
E202	信号を受信できません。(E202)	降雨、落雷、積雪などの天候の影響や、放送に適合しないアンテナを使用している、アンテナ線が切れている、外れている等の理由から、放送信号を受信できません。上記の問題がないかご確認ください。
E203	現在放送されていません。(E203)	選局したチャンネルが休止中や、番組が終了しています。番組表などで放送時間をご確認ください。
E204	このチャンネルはありません。(E204)	放送のないチャンネルを選局しました。別のチャンネルを選局してください。
E209	BS・110 度 CS アンテナ線がショートしています。アンテナとの接続を確認してください。(E209)	本機の電源を切り、ショートの原因を取り除いてから、電源を入れ直してください
なし	データ取得中	デジタル放送のデータ取得中です。そのままお待ちください。
なし	ネットワークにアクセスできません。ネットワークの接続を確認してください。	LAN 回線の接続を確認してください。
なし	チャンネルが割り当てられていません。	チャンネルが割り当てられていないリモコンの数字ボタンが押されました。別のチャンネルを選んでください。
なし	入力信号がないので調整できません。	VGA 入力モードでの画面調整時にはパソコンからの入力が必要です。パソコンを立ち上げてください。
なし	標準モードでは動作しません。	パソコン画面は標準モードでは動作しません。画面モードの中から他の画格をお選びください。
なし	予約された番組の放送が中止になりました。電子番組表で放送番組をご確認ください。	番組表でご確認ください。

本製品の主な仕様

デジタルハイビジョン液晶テレビ			
仕様			
型 名	CTV26-C1	CTV32-C1	
使 用 電 源	AC100V 50/60Hz		
消 費 電 力	46W	44W	
待 機 電 力	主電源オン：0.5W (主電源オフ：0W)	主電源オン：0.5W (主電源オフ：0W)	
年 間 消 費 電 力	85kWh/ 年	82kWh/ 年	
受 信 チ ャ ン ネ ル	VHFch1 ～ ch12/UHFch13 ～ ch62		
	CATVc13 ～ c63		
	地上デジタル 000 ～ 999		
	BS デジタル 000 ～ 999		
	CS デジタル 000 ～ 999		
デ ィ ス プ レ イ	26 インチ Full HD 液晶ディスプレイ	32 インチ HD 液晶ディスプレイ	
画 素 数	1920 × 1080	1366 × 768	
ア ス ペ ク ト 比	16 : 9		
コ ン ト ラ ス ト 比	800 : 1	1,000 : 1	
視 野 角 上 下 / 左 右	150 度 / 160 度	178 度 / 178 度	
応 答 速 度	5ms	7ms	
音 声 出 力	4W+4W	6W+6W	
接 続 端 子	VHF/UHF アンテナ入力	1	
	BS・CS110 度アンテナ入力	1	
	HDMI 映像 / 音声入力	3	
	D 映像入力 + ステレオ音声入力	2	
	S-ビデオ映像入力	1 (ステレオ音声入力はビデオ入力と共用)	
	ビデオ映像入力 + ステレオ音声入力	1	
	PC- アナログ映像 + ステレオ音声入力	1	
	光デジタル音声出力	1	
	サービス用端子	1	
	ヘッドフォン出力	1	
解 像 度	解像度 (HDMI 接続)	720 × 400/70Hz、1920 × 1080/60Hz、480i/60Hz、480P/60Hz、720P/60Hz、1080i/60Hz、1080P/60Hz、640 × 480/60/72/75Hz、800 × 600/56/60/75Hz、1024 × 768/60/70/75Hz	
	解像度 (D 接続)	480i/60Hz、480P/60Hz、720P/60Hz、1080i/60Hz、1080P/60Hz	
	解像度 (PC 接続)	640 × 480/60/72/75Hz、800 × 600/56/60/75Hz、1024 × 768/60/70/75Hz	
外形寸法 (スタンド含む：幅×高さ×奥行)		650mm× 477mm× 228mm	788mm× 561mm× 252mm
質 量 (ス タ ン ド 含 む)		9.5kg	12.5kg
付 属 品		専用スタンド× 1、スタンド用ネジ× 4、転倒防止ひも× 1、 転倒防止ひも用ネジ× 1、リモートコントローラ× 1、リモートコントローラ用乾電池× 2 アンテナケーブル× 1、B-CAS カード× 1、B-CAS ユーザー登録ハガキ× 1、 B-CAS カード固定用金具× 1、本体底蓋× 1、取扱説明書 (和文) × 1、保証書× 1	
使 用 環 境 / 保 管 環 境		温度：0℃～ 35℃ / ー 20℃～ 60℃ 湿度：20%～ 65%RH/10%～ 90%RH (結露なきこと) 高度：0 ～ 1,980m/0 ～ 2,980m	
・ この製品は日本国内専用です。外国では電源電圧が異なるため使用できません。This monitor is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.			
・ 仕様の一部を予告無く変更することがありますのでご了承ください。			
・  ロゴは登録商標です。			
・ その他記載の会社名および製品名は各社の登録商標または商標です。			

CTV26-C1 外形図



ご使用の前に

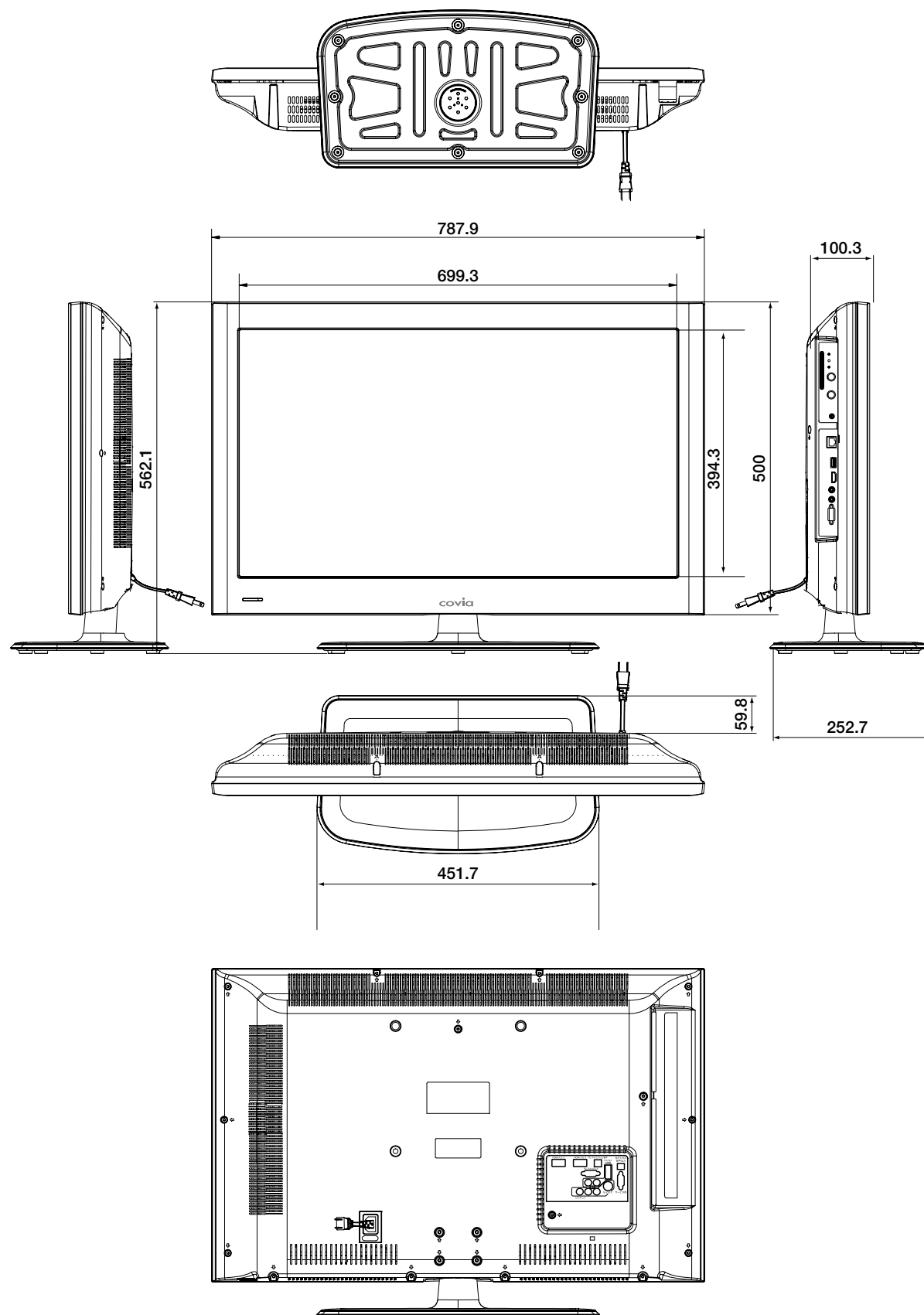
本製品の準備

テレビの基本操作

設定メニューの使い方

その他

CTV32-C1 外形図



保証とアフターサービスについて

- 本製品は日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではご利用いただけません。
This TV is designed only for use in Japan and cannot be used in any other countries.

保証書について

本製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際、販売店よりお受け取りください。保証書は所定事項の記入および記載内容をよくお読みいただき、大切に保存してください。

保証期間は、お買い上げの日から1年間です。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

本製品の不具合・修理など、何らかの原因で、本製品のメモリーに保存されたデータが破損・消滅した場合など、いかなる場合においても記録内容の補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。

また、いかなる場合においても、当社にて記録内容の修復は致しません。あらかじめご了承ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

製品サポートについて

本製品に異常があると思われるときには、まず本書の「故障かな?と思ったら」(➡ 56 ページ)をご覧ください。それでも解決しないときは、下記サポートセンターにお問い合わせください。

Covia サポートセンターへのお問い合わせは

〒210-0833 神奈川県川崎市川崎区桜本 2-32-1
川崎 SRC4A Covia サポートセンター

TEL : 050-5814-1111

E-mail : tv@covia.net

TEL 受付時間 / AM10:00 ~ PM19:00 まで 月曜~金曜
AM10:00 ~ PM18:00 まで 土・日・祝日
(夏期、年末年始、特定休業日を除く)

【個人情報の取扱】

お客様からご提供いただいた個人情報は、修理や製品のお問い合わせなどのアフターサービスの目的以外には利用致しません。

またこれらの利用目的の達成に必要な範囲内での業務委託をする場合などを除き、お客様の同意なく第三者への提供、または第三者と共同して利用致しません。

デジタルハイビジョン液晶テレビ

CTV26-C1/CTV32-C1



本書に記載されている内容は、予告なく変更されることがあります。あらかじめご了承ください。
本書の内容を無断で転載、コピーすることは禁止されております。